

ネットワークマスタ プロ/フレックス リリースノート

製品構成

MT1000A/MT1100A 本体とそれに対応するモジュールの関係および、変更履歴に記載されている変更対象と対応するモジュールの関係は以下のとおりです。

本体	モジュール	変更対象
MT1100A/MT1000A 共通	—	[Framework][Remote]
MT1100A	MU110010A MU110011A MU110012A MU100013A	[ETH][OTN][CPRI][FC][SDH/SONET][SDHPDH][GPS][MxH]
MT1000A	MU100010A MU100011A MU100090A MU100090B	
	MU100020A MU100021A MU100022A MU100023A	
	MU100040A MU100040B	

最新ソフトウェア

MT1000A	MT1100A
12.00.MT1000A_SW 12.00.MU100011A_DATA MX100001A-Setup-12.00-xxxxx.exe MX100003A-2.0.0.60-xxxxx.exe	12.00.MT1100A_SW MX100001A-Setup-12.00-xxxxx.exe MX100003A-2.0.0.60-xxxxx.exe

最新ソフトウェアに対応する取扱説明書の版数は以下の通りです。

取扱説明書	管理番号	MT1000A	MT1100A
MT1000A /MT1100A/MT1040A ネットワークマスタ プロ リモートスクリプティング取扱説明書	M-W4041AW	6 版	6 版
MT1000A ネットワークマスタ プロ トランスポートモジュール 取扱説明書	M-W3933AW	20 版	—
MT1100A ネットワークマスタ フレックス 取扱説明書	M-W3735AW	—	27 版
MT1000A ネットワークマスタ プロ OTDR モジュール 取扱説明書	M-W3810AW	20 版	—
MT1000A ネットワークマスタプロ OTDR モジュール リモートスクリプティング取扱説明書	M-W3859AW	8 版	—
MX100003A シナリオ編集キット取扱説明書	M-W4042AW	2 版	2 版
MT1000A MU100040A/MU100040B Network Master Pro Operation Manual	10580-00443	A	—

ソフトウェア/取扱説明書 バージョン情報

MX100003A バージョン	対応 MX100003A 取扱説明書版数	対応 MT1000A/MT1100A ファームウェアバージョン
2.0.0.60	2.0	12.00
2.0.0.58/59	2.0	11.08
2.0.0.55	1.0 取説名称変更 ¹	10.02 – 11.07
2.0.0.54	13.0	10.02 – 10.03
2.0.0.53	13.0	10.00 – 10.01
2.0.0.52	12.0	9.09 – 9.13
2.0.0.51	11.0	9.07 – 9.08
2.0.0.36/43/45/48/49/50	5.0 – 10.0	5.04 – 9.06
2.0.0.23	4.0	5.04 – 7.04
1.0.0.76	2.0 – 3.0	5.04 – 7.01
1.0.0.72	1.0	5.04

取説名称が、「MX100003A MT1000A/MT1100A シナリオ編集キット取扱説明書」から「MX100003A シナリオ編集環境キット 取扱説明書」へ変更になりました。

MT1000A/MT1100A ファームウェア バージョン	対応取扱説明書版数			
	MT1000A			MT1100A
	MU10001xA (Transport)	MU100040A/B (CPRI-RF)	MU10002xA (OTDR)	MU11001xA (Transport)
12.00	19/20	A	19/20	27
11.08	18	A	19	27
11.07	17	A	18	27
11.06	17	A	18	27
11.05	17	A	18	27
10.04	16	A	17	26
10.03	15	A	17	26
10.02	14	A	16	25
10.01	13	A	15	24
10.00	13	A	15	24
9.13	13	A	14	24

9.12	12	A	13	24
9.11	11	A	12	23
9.10	10	A	11	23
9.09	9	A	11	22
9.08	8	A	10	21
9.07	8	A	10	20
9.06	7	A	10	19
9.05	6	A	10	18
9.04	5	A	10	17
9.03	5	A	10	17
9.02	5	A	9	17
9.01	5	A	9	17
9.00	4	A 取説名称変更 ²	9	16
8.02	3	A	9	15
8.01	2	A	9	14
8.00	1 取説名称変更 ³	A	8	–
7.05	15	A	7	13
7.04	14	A	6	12
7.03	14	A	6	12
7.02	13	A	5	11
7.01	12	A	5	10
7.00	12	A	5	10
6.02	11	–	4	10
6.01	11	–	4	10
6.00	11	–	4	10
5.04	10	–	3	9
5.03	10	–	3	9
5.02	10	–	3	9
5.01	10	–	3	9
5.00	9	–	2	8

² 取説名称が、「MT1000A MU100040A Network Master Pro Operation Manual」から「MT1000A MU100040A/MU100040B Network Master Pro Operation Manual」へ変更になりました。

³ 取説名称が、「MT1000A MU100010A ネットワークマスタ プロ 取扱説明書」から「MT1000A トランスポートモジュール 取扱説明書」へ変更になりました。

4.00	8	–	1	7
3.04	8	–	–	7
3.03	8	–	–	7
3.02	7	–	–	6
3.01	6	–	–	5
3.00	5	–	–	4
2.05	4	–	–	4
2.04	4	–	–	3
2.03	3	–	–	2
2.02	2	–	–	2
2.01	2	–	–	2
2.00	2	–	–	1
1.00	1	–	–	1

インストール手順

1. バッテリーを使用してインストールする場合は、測定器に搭載されているバッテリーの残量が 40%以上であることを確認してください。
2. USB メモリを MT1000A/MT1100A から抜いてください。
3. 電源ボタンを押して MT1000A/MT1100A をシャットダウンしてください。このとき電源ボタン長押しによる強制電源 Off はしないでください。
4. AC アダプタまたは AC ケーブルを抜き、測定器の電源ボタンの LED が消灯されることを確認してください。
5. ソフトウェア(X.XX.MT1000_SW、X.XX.MU100011A_DATA もしくは XXX.MT1100_SW) を空の USB メモリにコピーしてください。使用する USB メモリは、FAT32 または NTFS 形式でフォーマットしたものをご使用ください。

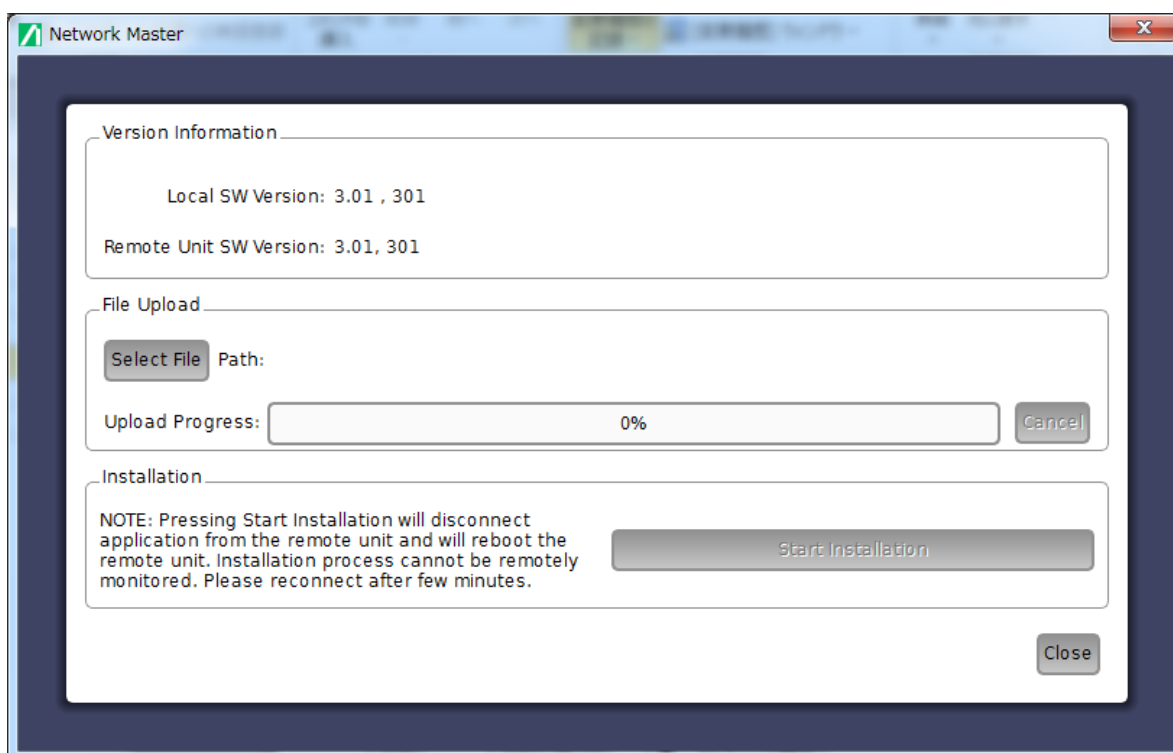
インストール前の MT1000A/MT1100A のバージョンが V11.05 以上の場合は、FAT32、NTFS が利用できます。V10.04 以下の場合は、FAT32 形式でフォーマットしたものをご使用ください。

6. USB メモリを MT1000A/MT1100A に挿入してください。
7. 電源を On にしてください。
測定器は USB メモリを検出し、インストール処理を開始します。インストール処理が終了すると測定器は再起動し、新しいソフトウェアで動作します。
MU100011A を含む MT1000A のソフトウェアをインストールする場合は、ネットワークマスタが起動時に MU100011A のデータのインストールが自動で開始されます。
8. インストールが完了したら、USB メモリを抜いてください。

インストールされたソフトウェアのバージョンは System Information 画面で確認することができます。

PC を使ったネットワーク経由でのインストール手順

1. バッテリーを使用してインストールする場合は、測定器に搭載されているバッテリーの残量が 40%以上であることを確認してください。
2. MX100001A コントロールソフトウェア(MX100001A-Setup-X.XX-xxxxx.exe、以下、コントロールソフトウェアという)を PC にインストールし起動します。(インストール方法については MT1000A ネットワークマスタ プロ トランスポートモジュール 取扱説明書もしくは MT1100A ネットワークマスタ フレックス取扱説明書 “3.5.1 コントロールソフトウェアのインストール”をご参照ください。)
3. コントロールソフトウェアと測定器をイーサネットで通信できるようにします。(接続および設定方法については MT1000A ネットワークマスタ プロ トランスポートモジュール 取扱説明書もしくは MT1100A ネットワークマスタ フレックス取扱説明書 “3.5.2 接続および設定”をご参照ください。)
4. アップデートタブを選択し、リモートアップグレード画面を表示させます。



5. [Select File]をクリックし、ダイアログボックスを表示させます。
6. ソフトウェア(X.XX.MT1000A_SW/X.XX.MT1100A_SW)を選択すると、測定器へソフトウェアのアップロードが開始され、アップロードの進捗がプログレスバーに表示されます。
なお、[Cancel] をタッチするとアップロードを中止します。
7. アップロードが終わったら、[Start Installation] をクリックしてください。[Start Installation] をタッチすると、測定器が再起動され、インストール処理が開始されます。インストールの進捗はリモートでモニタできません。数分後に再接続をしてください。

SEEK シナリオ

ソフトウェアをインストールしますと、MT1000A/MT1100A 内の/Internal/windowsinstaller/scenario のフォルダに、以下の SEEK シナリオがコピーされます。サンプルシナリオを使用するには、シナリオの登録が必要です。シナリオを登録する方法は、シナリオ編集環境キット取扱説明書の「4.2.1 シナリオの登録」を参照してください。

シナリオ名称	説明	モジュール
xCVRQuickCheck_04.obcfg	光トランシーバ単体のチェックをすることができます。 詳細は、弊社 WEB サイトにある「光トランシーバ単体チェック xCVR Quick Check SEEK シナリオ」を参照ください。	MT1000A MU100010A MU100011A
xCVRQuickCheck_00.obcfg		MT1100A MU110013A

変更履歴

Version	Date	Description
12.00	2021-5-24	● 追加された主な機能 ➤ [New HW] MU100090B 高精度 GNSS 同期発振器 モジュールをラインナップに追加しました。 GPS ユーティリティが Galileo, GLONASS, Beidou, QZSS に対応しました。(13901) ➤ [Ethernet][Framework] SyncE のワンダ(TIE, MTIE, TDEV)解析機能を追加しました。(13902) ➤ [Ethernet] タグ VLAN 回線の SyncE に対応しました。(13907) ➤ [Ethernet][Framework] IEEE1588v2 の PDV(Packet Delay Variation)と FPP(Floor Packet Percentile)の解析機能を追加しました。(13903) ➤ [Ethernet] SyncTest アプリにおいて、1PPS 測定を無効にできるようになりました。(13904) ● 修正されたバグ ➤ [Ethernet][MU100011A] QSFP28 と CFP4 のトランシーバ設定において、VOD、Pre、Post、DEF の設定値が異なるレーンに設定される不具合を修正しました。(13851) ➤ [Ethernet] IEEE1588v2 のログ出力をして長時間測定するとアプリがクラッシュすることがある不具合を修正しました。(13755) ➤ [Ethernet] SyncTest において IEEE1588v2 のメッセージ間隔が 1 秒以上のときに、グラフが正しく表示されない不具合を修正しました。(13738) ➤ [Ethernet] SyncE のフレームキャプチャ機能において、0 サイズの余分なファイルができることがある不具合を修正しました。(13782) ➤ [Framework] 結果フォルダを USB に指定した状態で USB メモリを抜くと、フォルダ指定が正しく設定されない不具合を修正しました。(13880)
11.08	2021-3-18	● 追加された主な機能 ➤ [ETH] Reflector アプリケーションにおいて、VLAN 付きの ARP と Ping に応答する機能を追加。(12517) ➤ [Framework][MX109020A] MX109020A で接続している測定器について、最新のファームウェアにアップデートする機能を追加。(13832) ➤ [SEEK][Framework][MX109020A] MX109020A に、SEEK のシナリオ実行結果をクラウドサービスやお客様のサーバにアップロード

		することができる MX109020A-003 オプションを追加。(13833) ● 修正されたバグ ➤ [SDHPDH] E3 または DS3 インタフェースにおいて、疎通しない不具合を修正しました。(13744) ➤ [ETH]IEEE1588 にて、IPv6 の Stateless を実行すると、本器がクラッシュする不具合を修正しました。(13743) ➤ [ETH]RFC2544 アプリケーションにおけるバースト試験実行時に、意図せずフレームロスを検出することがある不具合を修正しました。(12818) ➤ [RFS]USB マウス接続時に、マウスカーソルが表示されない不具合を修正しました。(13800) ➤ [MT1000A][ETH]SyncTest アプリケーションにおいて、25GbE で高精度周波数カウンタが動作しない不具合を修正しました。(13816)
11.07	2021-02-11	● 修正されたバグ ➤ [Framework] V11.06 において、以下のオプションを実装している際の、オプション管理問題を修正しました。 (A),(B)の構成で、V11.06 をご使用中の方は、V11.07 にバージョンアップをお願いします。 (A) MU100010A-001 のみを実装している場合 (B) MU100010A-011 あるいは-012 のみを実装している場合 (MU100010A-001/011 あるいは MU100010A-011/012 を実装している構成では、問題ございません)(13768)
11.06	2020-12-23	● 修正されたバグ ➤ [ETH] ジャンボフレームサイズの上限を設定する SCPI コマンドにより、本器がクラッシュする不具合を修正しました。 (ETHernet:PORT<Pt>:SETTings:JFSize) (13703)
11.05	2020-12-22	● 追加された主な機能 ➤ [Framework] USB WLAN ドングルによる WLAN 通信機能を追加。 ➤ [ETH] Reflector アプリケーションにおいて OAM 機能を追加。(13651) ➤ [OTDR] ファイバ長チェックの有効/無効の設定を追加。 この設定を有効にすると、測定前にファイバの長さが距離レンジを超えるかを調べ、光パルスの送出間隔を自動で調整することで、イベント点以外の不要な反射の発生を防ぎます。この設定を無効にすると、測定開始までの時間が短縮されます。上記機能は、v9.13 以降のバージョンで常時有効となっておりましたが、本バージョンで有効/無効の設定が可能となりました。 言語設定が日本語の場合、バージョンアップにより自動的にデフ

		ォルト値の無効に設定されます。(13698) ● 修正されたバグ ➤ [Wireshark]PC で Wireshark3.4 以降を使用した場合に eCPRI のデコード Lua スクリプトを使用するとエラーとなる不具合を修正しました。(13682) ➤ [ETH]1519byte のフレームを over size error と認識させることができない不具合を修正しました。(13679) ➤ [SEEK]SEEK 実行時の結果ファイル名に不正な文字(/, !, ?など)が含まれる場合のエラーメッセージを修正しました。(13644) ➤ [ETH]SyncTest アプリケーションにおいて、2-Step マスタポートの Time Error 測定結果を PDF レポート出力した時に、TE1 と Terr のグラフが正しく出力されない不具合を修正しました。(13643) ➤ [ETH]RFC2544 アプリケーションにおいて、長時間測定した場合にレポートファイルが正しく生成されない不具合を修正しました。(13507) ➤ [Framework]WLAN 接続において DHCP を使用した場合に切断されることがある不具合を修正しました。(13696)
10.04	2020-09-30	● 修正されたバグ ➤ [ETH]測定結果について、LOFA カウンタの履歴が正しく保存されずにエラー無しになってしまう不具合を修正しました(13624) ➤ [ETH][RoE] 25GbE のインタフェースで、下記のフレームサイズでかつラインレートが 80%以上の場合、5byte 未満の IFG が送信する不具合を修正しました。(13559) ➤ [ETH] Ping アプリケーションにおいて、数日間など長時間測定した後で PDF レポート出力するとアプリケーションが落ちる不具合を修正しました(13410) ➤ [ETH] Ping アプリケーションにおいて、数日間など長時間測定した後で PDF レポート出力するとデータが欠落したファイルが生成される不具合を修正しました(13408) ➤ 下記のセキュリティ上の脆弱性を解消しました。(13544) ◇ - MT1000A/MT1100A/MT1040A の GUI システムである X11 サーバが、制約無くホストからの接続を受け付ける
10.03	2020-08-11	● 追加された主な機能 ➤ [SEEK]MT1040A に対応しました。
	2020-07-13	● 追加された主な機能 ➤ [ETH]RFC2544 に下記機能を追加しました。(12697) - Latency, Jitter, Throughput による Pass/Fail 閾値設定を追加 - Latency と Packet Jitter の同時測定に対応

		- Threshold Frame Loss tolerance 設定を追加 ➤ [ETH] RFC2544 と SAT(Y.1564)測定における、遅延とパケットジッタの測定精度が向上しました。(13550) ➤ [OTDR]韓国語の GUI 表記を追加しました。(12847) ● 修正されたバグ ➤ [MxH] eCPRI 試験において、IEEE1588 または SyncE をオンにした状態で疎通試験を実施すると、PRBS 同期アラームがカウントアップする不具合を修正しました。(12368) ➤ [ETH]]IEEE1588v2 SMPTE プロファイルにおいて、マルチキャスト時に VLAN に対応できていない不具合を修正しました。(13485, 13472) ➤ [OTDR]測定モードを個別設定、波長を ALL に設定したとき、波長が切り替わってから測定開始するまで時間が掛かる不具合を修正しました。(12894) ➤ [OTDR]良否判定基準を ISO/IEC もしくは JIS に設定したとき、規格上判定不要な項目である伝送損失の良否判定を行う不具合を修正しました。(13537)
10.02	2020-06-04	● 追加された主な機能 ➤ MX109020A Site Over Remote Access に対応しました。 MT1000A-011 オプションを搭載することで、MX109020A を使って遠隔制御やファイルのやり取りが出来るようになります。(13368) ➤ [VIP] G0382A のオプションチップがすべて選択できるようになりました。(13332) ➤ [VIP] 合否解析の解析範囲が画面の外にはみ出す場合。対応するメッセージを表示するようになりました。(13333) ● 修正されたバグ ➤ [ETH] 2 台の MT1000A を使った RFC2544 測定において、片方の MT1000A を Reflector とした場合にフレームロスが 1 個発生する不具合を修正しました。この不具合は 100GbE, 40GbE, 25GbE のインタフェースにおいて発生するものです。(12833) ➤ [ETH] RFC2544 アプリケーションの 25GbE において、回線負荷量の単位を変更したときにクラッシュする不具合を修正しました。(12939) ➤ [ETH][MxH] 25GbE 以上のインタフェースでクロス PRBS パターンを使用した BER 測定中にケーブルを挿抜すると、PRBS 同期アラームが検出されてしまう不具合を修正しました。(12594) ➤ [ETH] Ethernet アプリケーションでインターバルの長さを「インターバル無し」で測定後、Statistics の CSV 出力を行うと、強制的に

		再起動する不具合を修正しました。(12820) ➤ [ETH] 25GbE 以上のインタフェースで、フレームサイズを「ステップ」にしてパケットを送信した場合に、不正なパケットが出力されることがある不具合を修正しました。(12864) ➤ [VIP] 一部のチップにおいて、オートフォーカスが正常に動作しない不具合を修正しました。(13326)
10.01	2020-05-11	● 修正されたバグ ➤ [ETH][MxH] 25GbE, 40GbE, 100GbE のインタフェースで、2048byte 以上の Ping パケットを受信した場合の不具合を修正しました。(13380) - [ETH][MxH] Ping Request に対して応答しないことがある。 - [Ping] 該当条件で測定できないことがある。 - [RFC2544] 該当条件で「ルーターレイテンシ テスト」を行うと、測定できないことがある。
10.00	2020-02-20	● 追加された主な機能 ➤ [New HW] MU100023A OTDR モジュール 1.31/1.55/1.65um SMF をラインナップに追加しました。 ➤ [OTDR] パッチコード設定条件に、「開始点距離の相関」、「終了点距離の相関」の項目を追加しました。 ➤ [OTDR] 距離レンジ 0.5km でパルス幅 200ns を選択できるようにしました。 ➤ [OTDR] 内蔵メモリ、または USB メモリに保存された”.sor”ファイルデータを、一括してレポート生成する機能を追加しました(PDF, XML または CSV 形式)。本機能は、”Standard OTDR”または”FTTA”アプリケーションで有効です。 ➤ [OTDR] OLTS アプリケーションで、ロステーブルの結果をレポート出力する機能を追加しました(PDF, XML CSV 形式)。 ➤ [OTDR] 自動測定時のスプリッタ検出精度を向上しました。 ➤ [OTDR] OLTS アプリケーションで SCPI コマンドによるリモート制御機能を追加しました。 ➤ [SEEK] 複数のアプリケーションを含んだ測定シーケンスにおいて、各アプリケーションの測定結果を 1 つのレポート(PDF, XML など)として出力できるようにしました。 ➤ [SEEK] テキストファイルに書かれた情報を読み込み、その情報に基づいて条件分岐するようなシナリオを記述できるようになりました。(12808) ➤ [SEEK] MU100020A/21A/22A/23A OTDR モジュールの、OLTS アプリケーションに対応しました。

		● 修正されたバグ ➤ [ETH] MU100010A において Ver9.10 以降のソフトウェアを使用する際、オプションの組み合わせによって SyncTest アプリケーションが起動画面に表示されなくなる不具合を修正しました。本不具合が発生する組み合わせは以下の通りです。(12687) ◇ MT1000A-005 がインストールされている ◇ MU100010A-011 がインストールされている ◇ MU100010A-001 がインストールされていない ➤ [ETH][MxH] MU100011A の Ethernet アプリケーションと eCPRI/RoE BERT において、MU100011A-023 がインストールされていないときに、SFP28 で“FEC Symbol Error”のエラー挿入ができない不具合を修正しました。(12701) ➤ [OTDR] 良否判定の「スプリッタ損失」が表示されないことがある不具合を修正しました。(12736) ➤ [OTDR] 自動測定モードを「拡張」、測定モードを「自動」に設定してアベレージ測定すると、MT1000A がフリーズすることがある不具合を修正しました。(12482)
9.13	2019-12-12	● 追加された主な機能 ➤ [OTDR] 損失測定結果を ISO/IEC もしくは JIS 規格に準拠して良否判定する機能を追加しました。(12648) ● 修正されたバグ ➤ [Framework] GPS ポップアップに表示される MU100090A 内蔵オシレータの電源投入後の経過時間にはこれまで初期安定化にかかった時間(=OSC ランプが点灯するまでに要した時間)が含まれていましたが、含まないように改善しました。ホールドオーバー仕様を満たすための Warming up 所要時間である 3 時間が正しく確認できるようになりました。(12642) ➤ [Framework] まれに USB メモリが認識しないことがある不具合を修正しました。(12537) ➤ [OTDR] OTDR の測定波形において、イベント点(コネクタや融着)以外で不要な反射が発生することのある現象を改善しました。この現象は、旧バージョンにおいて被測定ファイバに対して短い距離レンジ設定がされている場合に発生します。(12488) ➤ [ETH]統計値結果「リモート障害」が正しく測定されない不具合を修正しました。本不具合は、ポートモードが強制(Forced)設定の時に発生するものです。(12585) ➤ [VIP] G0382A に関して、以下の不具合を修正しました。(9850) ◇ G0382A をネットワークマスタに接続したときに、G0382A を認

		識しないことがある。 ◇ ネットワークマスタから G0382A を外すと、パネル操作ができなくなる、またはネットワークマスタが再起動することがある。
9.12	2019-10-10	● 追加された主な機能 ➤ [ETH] MU100011A モジュールの 10GbE 以上のインタフェースにおいて、リンクフォルトシグナリング(LFS)エミュレーション機能を追加しました。(12438) ● 修正されたバグ ➤ [ETH] DHCP 機能に関連した以下の不具合を修正しました。 ◇ 測定中、DHCP のリース期限の更新が発生するたびに、エラーメッセージが表示する不具合を修正しました。(12436) ◇ “server identifier”オプションの有無を確認する DHCP サーバを使用した場合に、アドレス解決に失敗する不具合を修正しました。(12367) ◇ アドレス解決後、DHCP の設定を無効化する不具合を修正しました。(12447) ➤ [ETH] 1GbE のオートネゴシエーション以外のインタフェースにおいて、リモート障害(英語: Remote fault)検出機能が有効になっている不具合を修正しました。(12519) ➤ [ETH][OTN] MU100011A において、MU100011A-001 もしくは MU100011A-003 がインストールされていない場合に、MonGen、Reflector、RFC2544、SAT の各アプリケーションの「+OTN」ボタンが有効となっている不具合を修正しました。(12416) ➤ [Framework] WLAN において、SSID 名に「¥(バックスラッシュ)」、「”(ダブルクォーテーション)」が含まれているネットワークヘログインできない不具合を修正しました。ただし、SSID 登録後の名称の表記が「¥」は「¥¥」、「”」は「¥”」と表示されます。(12433) ➤ [FC] Not operational (NOS)のアラーム挿入において、NOS パターンの間に IDLE パターンが挿入してしまう不具合を修正しました。(12440) ➤ [FC] 16GFC インタフェースにおいて、アラームの NOS パターンが Remote Fault パターンに変換してしまう不具合を修正しました。(12440) ➤ [FC] R_RDYのエラー挿入において、挿入パターンの値が誤っていた不具合を修正しました。(12440) ➤ [FC] エラーのバースト挿入時において、EOFパターンとR_RDYパターンの間に IDLE パターンを挿入しない不具合を修正しました。(12440)

		➤ [SEEK] ループ処理の記述があるシナリオにおいて、ループが実行できず結果が Fail となる不具合を修正しました。(12469)
9.11	2019-09-05	● 修正されたバグ ➤ [ETH][MxH] MU100011A の 10GbE 以下のインタフェースにおいて、レイテンシ測定結果が異常に大きくなる場合がある不具合を修正しました。関係するアプリケーションは、Ethernet BERT, MonGen, RFC2544, SAT(Y.1564)及び eCPRI/RoE BERT です。なお SAT(Y.1564)アプリケーションではレイテンシ結果が異常になった場合 SAC 違反として測定結果が不合格になります。(12454, 12472) ➤ [ETH][MxH] MT1000A のアプリケーション、Ethernet BERT, MonGen 及び eCPRI/RoE BERT において、レイテンシおよびジッタ測定結果の分解能が製品規格 (5ns)を満たさないことがある不具合を修正しました。(12470)
9.10	2019-06-18	● 追加された主な機能 ➤ [ETH] IEEE1588v2 モニタ画面にネットワークが配信する Clock Class 値を表示している。この Class 値に加えて、ITU-T 既定の換算に従った QL 値を表示するようにしました。(12257) ➤ [ETH] IEEE1588v2 のプロファイルに G8275.2 を追加しました。(12238) ➤ [ETH] PTP メッセージ共有ヘッダの flagField が編集およびデコード表示できるようになりました。IEEE 1588v2 設定に、マスタポート flagField の変更するための画面と、IEEE1588v2 モニタにデコード結果を表示する画面を追加しました。また flagField の値は Clock Class 設定値に追従して適切に初期化されます。(11567, 12319) ➤ [ETH] SyncTest の最大測定時間を 3 日間に拡大しました。12 時間を超える測定時間では全ての測定結果は表示メモリには収まらないため、自動的に CSV ファイルに保存されます。(12239) ➤ [ETH] Y.1564 において、Availability のしきい値の設定可能値を小数点 4 桁に、測定結果の小数点以下を 5 桁表記に変更しました。99.9999%の信頼性が求められる 5G ネットワークの測定に対応しました。(12249) ➤ [ETH] 統計値結果の単位表記に、byte/bit を切り替える機能を追加しました。(12105) ➤ [ETH] 統計値結果を CSV フォーマットに出力する機能を追加しました。Excel などの外部ソフトウェアで長時間の測定結果を解析するのが容易になります。(11989) ➤ [MxH] CPRI/OBSAI BERT のラインレートに、12G(Option 9)と

		25G(Optional10)を追加しました。(12237) ➤ [RemoteGUI] MX100001A を使って遠隔にある MT1000A を、スタンバイ状態にしたり、スタンバイ状態から復帰させたりする機能を追加しました。(12235) ● 修正されたバグ ➤ [ETH] 25G 以上において、フレームサイズが 63 バイト以下の場合に、送信フレーム数の表示値が実際の 2 倍になる不具合を修正しました。(12200) ➤ [ETH] SyncTest において、長時間測定後にグラフを表示すると、フリーズする不具合を修正しました。(11176, 11314) ➤ [ETH] v9.09 の Ethernet アプリケーションにおいて、IPv4 の DHCP を通してゲートウェイサーバを取得する機能を使用した場合、ゲートウェイが正しく設定できない不具合を修正。(12248) ➤ [ETH] 回線負荷量の IFG の最大値が正しく設定できないことがある不具合を修正しました。(12175) ➤ [ETH] 異なる VLAN を跨いで ARP が解決してしまう不具合を修正しました。(12055) ➤ [ETH] ストリーム設定のアドレス可変フィールドの Random 設定において、設定した範囲どおりに出力されない不具合を修正しました。(10905, 11117) ➤ [ETH] 送信元 MAC アドレスの設定が「初期値」となって保存された設定ファイルをロードした場合、送信元 MAC アドレスがロード先の MT1000A 固有の MAC アドレスに設定されるように変更しました。(11112) ➤ [ETH] IEEE1588v2 機能において、プロファイルが ITU-T G.8275.1 または SMPTE 2059 に設定された設定・結果ファイルをロードした場合に、一部の設定(アナウンス間隔、Sync 間隔、最小遅延要求間隔値)が正しく復帰しない不具合を修正しました。(12322) ➤ [RemoteGUI] MX100001A を使って遠隔にある MT1000A を、スタンバイ状態にしたり、スタンバイ状態から復帰させたりする機能を追加しました。(12235) ➤ [ETH][MxH] MT1000A の SyncTest と Pass Through において、ポートの選択を行わずに起動できるようにしました。(12236) ➤ [ETH][MxH] v8.01 以降の Ethernet または eCPRI/RoE BERT アプリにおいて、SFP28 を使用した場合に、FEC の ON/OFF が設定できなくなる不具合を修正しました。(12258) ➤ [Framework] v9.09 の MU100010A と MU110010A において、System Information に表示されているオプション形名が正しく表示
--	--	---

		されない不具合を修正しました。(12308) ➤ [Framework] Windows10 のバージョン 1709 以降でファイル共有ができなくなる不具合を修正しました。(12186) ➤ [OTDR] パワーメータのゼロオフセット実行中にキャンセルすると、以降測定パワーの表示値が更新されなくなる不具合を修正しました。(12240)
9.09	2019-02-13	● 追加された主な機能 ➤ [ETH] BER, MonGen, SyncTest の各アプリケーションにおいて下記の機能を追加しました。(11970,12182) - IGMP/MLD の Join/Leave 機能 - IEEE1588v2 のプロファイルとして SMPTE 2059 に対応 ➤ [ETH] MonGen, ChannelStat の両アプリケーションの Burst 設定において、Burst Length/Gap の入力機能を追加しました。(12094) ➤ [ETH][MxH] Ethernet カテゴリ、MxH カテゴリにおいて、IPv6 の Gateway 機能を追加しました。(11238) ➤ [MxH] eCPRI/RoE アプリにおいて、25G eCPRI/RoE を 2 ポート同時に使用できるオプションを追加しました。(11969) ➤ [Framework] 測定結果の統計値表示について、測定値に合わせて k/M/G を自動で表示する機能を追加しました。(12066) ➤ [Framework] アプリケーション起動中の進捗表示を追加しました。(12065) ➤ [OTDR] OTDR の測定結果を JSON フォーマットで出力する機能を追加しました。(12168) ● 修正されたバグ ➤ [ETH] エラーフレームの発生頻度が十分に少ない場合、正常フレームの比率が有効数字で四捨五入されて 100.00%と表示される不具合を修正しました。(12056) ➤ [ETH] Latency 結果が 1ms 以上となった場合、測定結果のすべてが表示されなくなる不具合を修正しました。(12167) ➤ [ETH] SyncTest アプリケーションにおいて、Ext10M、Ref1pps, dut1pps に入力信号がなくても、ステータスが緑点灯することがある不具合を修正しました。(11819, 9412,10860) ➤ [ETH][OTN][SDH][CPRI][FC] 測定後にイベントログを CSV に保存する場合、保存が失敗することがある不具合を修正しました。(11264) ➤ [ETH][OTN][NoFrame] MU110012A/MU110013A において、J1756A CFP2-QSFP28 Adaptor を使用した場合、QSFP28 の内部レジスタのページ 2, 3 への値の書き込みができない不具合を修

		正しました。(11988) ➤ [Remote][ETH] SCPI コマンド(IFETCH)で Rx Total good bytes が取得できなかった不具合を修正しました。(12115) ➤ [Remote][ETH] SCPI コマンドを用いてフレームキャプチャの保存を実行するときに、ファイル名の後ろにスペースがあると保存に失敗する不具合を修正しました。(12024) ➤ [VIP] G0382A が自動スタンバイ状態になった場合、本体の VIP アプリケーション操作することで G0382A をアクティブ状態になるように修正しました。(12173) ➤ [ETH] v9.07, v9.08 において、SFP28 の設定ファイルをロードした場合に IEEE1588v2 と SyncE が強制的に OFF となり、ON に変更できなくなる不具合を修正しました。(12054)
9.08	2018-11-21	● 修正されたバグ ➤ [SEEK] xCVRQuickCheck_02 シナリオの BER 測定において、周波数変動の設定が 0ppm から変更されない問題を修正しました。(11995)
9.07	2018-09-19	● 追加された主な機能 ➤ [ETH] RFC2544 アプリケーションにおいて、任意のフレームサイズを複数設定できる機能を追加しました。(11829) ➤ [ETH] BERT/MonGen アプリケーションにおいて、オートネゴシエーションのステータスにおける、「リモート障害」表示の ON/OFF 機能を追加しました。(11861) ➤ [MxH] CPRI/OBSAI BERT アプリケーションにおいて、OBSAI フレームを生成・解析する機能を追加しました。(11873) ➤ [Framework] MX100001A のリモート操作初期画面で記入されたクライアントのタイトルテキストを、接続先の MT1000A リソースモニタ画面へ表示できるように改善しました。(11886) ➤ [Framework] フィンランド語による GUI 表記を追加しました。(10993) ● 修正されたバグ ➤ [Framework] WLAN による MT1000A/MT1100A のネットワーク接続異常が長時間続いた場合、アプリケーションの設定がバックアップされない不具合を修正しました。(11313) ➤ [ETH] Mon/Gen アプリケーションにおいて、VLAN/IPv4 もしくは MPLS/IPv4 が含まれる複数のストリームを送信した場合、IPv4 ヘッダチェックサムエラーを含んだフレームを送信する不具合を修正しました。(11855) ➤ [ETH] v9.05/v9.06 の 25GbE のフレームキャプチャ機能において、

		本来取り込めない 513kByte 以上のバッファサイズが表示される不具合を修正しました。(11950) ➤ [MxH] CPRI/OBSAI P.Thru アプリケーションの名称を、CPRI P.Thru へ変更しました。(11976) ➤ [Remote][OTDR] 波形データを取得する:OTDR:TRAC:LOAD:TEXT?コマンドを送ると、本体が再起動してしまう場合がある不具合を修正しました。(11951)
9.06	2018-07-19	● 追加された主な機能 ➤ [ETH] MU100011A を実装した 2 台の MT1000A の時刻を同期させる機能を追加しました。(11791) ➤ [ETH] PTP 測定の測定結果の測定精度、および Latency 測定の精度・分解能を向上しました。(10877,11790) ➤ [ETH] RFC6349 アプリケーションにおいて、IPv6 に対応しました。(10879) ➤ [ETH] BERT アプリケーション、RFC2544 試験の Latency/Jitter 測定で表示している縦軸に[sec(秒)]の単位表示を追加しました。(10789,10824) ➤ [Framework] WLAN 接認証における PSK(WPA または WPA2 の場合)の最大文字数を 32 から 64 に拡張しました。(11526) ➤ [FC] FC BERT アプリケーションにおいて、10GFC と 16GFC における Block Error の検出および挿入機能を追加しました。(11516) ● 修正されたバグ ➤ [ETH] BERT アプリケーション、Mon/Gen アプリケーションにおいて、CFG ファイルを読み出した際、TCP プロトコル設定の“Listen mode”が常に Off でロードされる不具合を修正。(11214) ➤ [ETH] v9.04 以前の BERT アプリケーションにおいて、100G インタフェースを使用し、FEC symbol error を挿入するときに、Insertion 設定が“Burst/sec”または“Burst/10 sec”に選択されていると、アプリケーションが強制終了する不具合を修正。(11344) ➤ [ETH] Mon/Gen アプリケーションにおいて、TCP プロトコルを使用してセッションを確立しようとしても、ストリーム 9～16 でセッションが確立できない不具合を修正。(11221) ➤ [ETH] Sync アプリケーションにおいて、測定結果を保存したファイルをロードしても、Port2 の TE1 と Terr のグラフ結果が表示されない場合がある不具合を修正。(11655) ➤ [Framework] v9.02 以降のソフトウェアにおいて、ファイルブラウザ上のファイルの時刻情報が表示されない不具合を修正。(11042) ➤ [Framework] WLAN の設定において、すでに保存してあるネットワ

		ークを「ネットワークを編集」で編集する場合、PSK の値に“[key is configured]”が記述されており、このまま保存すると、PSK の値が [key is configured]となる不具合を修正。(11267) ➤ [OTN] BERT アプリケーションにおいて、測定モードを RTD に選択しアプリケーションを終了させ、再度アプリケーションを起動し測定モードを BERT に変更した場合、エラーが発生する不具合を修正。(11495) ➤ [OTDR] マルチパルス測定を行なった場合、dB/km と Cum.Loss(dB)の値が正しく計算されていないことのある不具合を修正。(11836) ➤ [ETH] RFC6349 アプリケーションにおいて、スループット測定結果が実際のレートよりも低くなる場合がある不具合を修正しました。(10883)
9.05	2018-05-08	● 追加された主な機能 ➤ [ETH] Sync Test アプリケーションに 25GbE インタフェースを追加。(10880) ➤ [OTN] MU100011A モジュールにおいて、OTU2e-FC1200 マッピングを追加。(10803) ➤ [MxH] eCPRI/RoE BERT アプリケーションを追加。本アプリケーションはイーサネットオプションをインストールすることで使用できます。(10878) ➤ [Framework] トランスポート機能において韓国語を追加。(10837) ● 修正されたバグ ➤ [ETH] MU100011A に設定した IP アドレス以外の ARP Request に対して、誤って以下の宛先アドレスの ARP Reply を返信してしまう不具合を修正。(11069) SrcMAC 00-00-00-00-00-00 SrcIP 0.0.0.0 ➤ [ETH] v9.02/9.03/v9.04 の RFC2544, MonGen, BERT のアプリケーションにおいて、2ポートを使用したLatency測定を行った場合、Latency がただしく測定できないことがある不具合を修正。本不具合は、アプリケーション起動直後にインタフェース設定を変更せずに測定すると発生します。(10963) ➤ [ETH] v5.00 以降の SyncTest アプリケーションにおいて、1PPS TE 測定結果値が正負逆転している不具合を修正。(10907) ➤ [ETH] v5.00 以降の SyncTest アプリケーションにおいて、PTP StepMode 設定がポート 1 とポート 2 で異なっていた場合、PacketTE 測定のグラフが表示されない不具合を修正。(10906)

		➤ [ETH] v7.02 以降の Ethernet BER アプリケーションにおいて、送受信フレーム数のしきい値判定結果が正しいにもかかわらず、Fail となることがある不具合を修正。(9487) ➤ [ETH][OTN] v9.00 以降の QSFP28 モジュール選択時において、Power Class 5,6 および 7 の光モジュールを正しく制御できない不具合を修正。(10903) ➤ [ETH][OTN] QSFP+/QSFP28 モジュールを選択した場合、送信パワーの表示を mA 単位とすべきところを dBm で表示してしまう問題を修正。光モジュールの仕様に合わせて mA 単位あるいは dBm で表示されます。(10994) ➤ [MxH] OBSAI を選択した状態で、Delay もしくは APS 測定を有効とした場合、測定器の送受信する信号が CPRI に変更されるが、GUI 表示がこれに追従しない不具合を修正。(11080) ➤ [SDHPDH] v3.00 以降の SDH/SONET アプリケーションにおいて、E1 測定を行い、その結果からレポート生成を実行しようとする、本体が再起動してしまう不具合を修正。(10962) ➤ [Remote] v9.00 以降のソフトウェアを使用し、SCPI コマンドでモジュールステータスの問い合わせても CFP, CFP2, CFP4, QSFP28 の光モジュールの場合、正しい状態を返さない不具合を修正。(10893)
9.04	2018-04-04	● 修正されたバグ ➤ [Framework] MU100011A の製造番号「6261738768 ~ 6261801145」において、測定ポートの MAC アドレスの初期値が「00-00-00-xx-xx-xx」と設定されていた不具合を「00-00-91-xx-xx-xx」に自動修正する機能を追加しました。お手数ですが、対象の製品を使用されているお客様は、速やかに本バージョンに更新いただきますようお願いいたします。(10966) ➤ [Framework] 文字入力ダイアログにおいて、履歴表示(過去に入力した文字のリスト)が表示された場合、履歴表示が数値入力ボタンと重なってしまい、ボタンが押せなくなる不具合を修正。(11087) ➤ [ETH] v9.03 の Ethernet アプリケーションにおいて、Gateway 設定を ON として ARP を実行した場合に、ゲートウェイのアドレスではなく、宛先 IP アドレスを使って ARP Request が送信される不具合を修正。(11209)
9.03	2018-02-22	● 改善された機能 ➤ [Standard OTDR][FTTA][Construction] 短いパッチコード(3m 以下)使用時における接続チェック機能の性能を向上。(10980)
9.02	2017-12-06	● 修正されたバグ

		➤ [ETH] バージョン 9.01 で MU100010A もしくは MU110010A を使用した RFC6349 アプリケーションの試験を行った場合、試験結果が DUT の実力値よりも悪い値になる場合がある不具合を修正。(10888)
9.01	2017-11-30	● 追加された主な機能 ➤ [ETH] 10M/100M/1000M イーサネットの電気インタフェースにおいて、MDI/MDI-X/Auto の選択機能を追加。(10810) ➤ [ETH] MT1100A において、ディスクバリアアプリケーションを含むインバンドリモート機能を追加。(10811) ➤ [NOFRAME] MU100011A において、4Lane BER 測定機能を追加。(10809) ➤ [FTTA] FTТА アプリケーションにおいて、CFG ファイルをロードできる機能を追加。(10762) ➤ [Construction] Construction アプリケーションにおいて、複数波長を測定した場合、第 1 波長で設定したカーソル位置を他の波長の波形にも反映する機能を追加。(10552) ➤ [Framework] 測定器の内部ストレージに多数のファイルが溜まった結果、本体の起動が遅くなる問題の回避機能を追加。(10790) ➤ [Remote][VIP] MMEM:STOR リモートコマンドで「名前を付けて保存」する場合に、拡張子表記なしで出力ファイル名を指定しても自動的に“.vpi” 拡張子が付与される機能を追加。(10682) ● 修正されたバグ ➤ [ETH] BERT もしくは MonGen アプリケーションにおいて、複数ポート同時に Latency 測定を行った場合、表示される測定結果の小数点桁数が揃わない不具合を修正。(10789) ➤ [ETH] Gateway 設定の On/Off が ARP 設定の On/Off に依存して、設定が変更されてしまう不具合を修正。(10791) ➤ [ETH] Ping アプリケーションにおいて、VLAN2 段を選択すると IPv6 フレームが選択できない不具合を修正。(10737) ➤ [ETH][OTN][SDH][FC][CPRI] レポート作成時、CSV 形式で出力すると、ビットカウントなどの数値データが、3 桁毎にスペース区切りで出力されてしまう不具合を修正。(10728) ➤ [NOFRAME] MU100011A モジュールで QSFP28 モジュールを使った 20LaneBER 測定でエラーが発生する場合がある不具合を修正。(10797) ➤ [OTN] 波長可変 SFP の受信パワーが誤って 0dBm と表示されてしまう事がある不具合を修正。(10799)

		➤ [VIP] 判定結果が不合格のデータを保存する場合において、ダイアログに「解析失敗」と表示される不具合を「テスト結果が不合格です」に修正。(10773) ➤ [Standard OTDR][Construction] アンリツ製 OTDR(MT908x, MT9090 など)で取得した SOR ファイルを読み込むと Sequence Number が“0”になる不具合を修正。(10449) ➤ [Standard OTDR][FTTA] OTDR および FTTA アプリケーションにおいて、Test Status 画面を表示した場合に、試験結果が反映されない不具合を修正。(10320) ➤ [Standard OTDR][FTTA] アンリツ製 OTDR(MT908x, MT9090 など)で取得した SOR ファイルを“Load with setup”で読み込むと Setup 画面のリストボックスが空欄になる場合がある不具合を修正。(10755) ➤ [OLTS] OLTS アプリケーションにおいて、Test Status 画面を表示した場合、OLTS のプログレスバーが表示されない不具合を修正。(10767) ➤ [Remote][Standard OTDR] SCPI で OTDR アプリケーションを起動した後、INST:STAR:GUI で Client を起動した場合、VFL のファンクションキーが表示されない不具合を修正。(10162) ➤ [Remote][Standard OTDR] 測定条件が“自動”の場合の測定結果を“OTDR:TRACe:LOAD:TEXT?”で取り出すと dB/Km (伝送損失)が正しく取得できない不具合を修正。(9409)
9.00	2017-9-19	● 追加された主な機能 ➤ [New HW] 測定モジュールラインナップに MU100040B CPRI RF モジュールを追加 (10764) ➤ [ETH] 25G イーサネットの設定において、FEC On/Off 機能を追加 (10238) ➤ [ETH][OTN] CFP2-QSFP28 アダプタ J1756A を追加 (10765) ➤ [ETH][OTN][SDH][CPRI][FC] SFP、SFP+, SFP28 モジュール用 I2C 解析機能を追加 (10741) ● 修正されたバグ ➤ [OTN][SDH] APS テストにおいて、測定開始から最大 2 秒間に APS 測定が動作しない不具合を修正。(8937) ➤ [Remote] リモート制御での Y.1564 および Ping アプリケーションにおいて、ARP 失敗時にサマリ結果が PASS となってしまう不具合を修正。(9799)
8.02	2017-8-31	● 追加された主な機能 ➤ [ETH][SDH] 測定項目にラインレート周波数の偏差(Max, Min,

		Avg)を追加。(10715) ➤ [SDH] BERT アプリケーションにおいて、スルーモード動作時アラーム挿入機能に MS-AIS/AIS-L アラームを追加。(10657) ➤ [NOFRAME] MU100011A モジュールにおいて、No Frame アプリケーションを追加し、以下の機能を対応。(10443) - 25G BER for SFP28 - 10G x4 lane BER for 40G QSFP+ - 10G x20 lane BER for 100G CFP4/QSFP28 ➤ [SEEK] MX100003A にループ機能と、文字列分割コマンドを追加。(10691) ● 修正されたバグ ➤ [ETH] V8.00/V8.01 の Y.1564 アプリケーションにおいて、MU100090A からの GPS 情報を用いた片方向遅延測定結果が正しく測定できない不具合を修正。(10733) ➤ [ETH] MU100011A モジュールにおいて 25GbE 選択時に、ステータス画面における LOS アラーム情報が正常に動作しない不具合を修正。(10732) ➤ [ETH] Ping アプリケーションにおいて、IPv6 を選択できない不具合を修正。(10722) ➤ [ETH] Ping アプリケーションにおいて、ARP 失敗時にテストステータスが FAIL とならない不具合を修正。(9798) ➤ [SDH][OTN] 40G/100G レートにおいて、ステータス画面における Signal Power 値が不正な値を示すことがある不具合を修正。(10736) ➤ [OTN] APS アプリケーションにおいて QSFP+/QSFP28 インタフェース選択時に、APS 測定のトリガ条件で LOS を選択できる不具合を修正。(10677) ➤ [NOFRAME] MU110013A モジュールの No Frame アプリケーションにおいて、CFP2 インタフェースでの 20LaneBER 測定が正常に測定できない不具合を修正。(10676)
8.01	2017-06-29	● 追加された主な機能 ➤ [ETH] 100GbE/40GbE/25GbE において、ポーズフレームを受信した時にストリーム送信を停止する機能を追加。(9968) ➤ [ETH][OTN][SDH][FC][CPRI] Tunable SFP/SFP+をサポートし、任意の波長を設定できる機能を追加。(9473) ➤ [ETH][OTN][SDH][FC][CPRI] しきい値設定した場合に、試験結果の値の色を PDF レポートに反映。(10173) ➤ [ETH] SyncTest アプリケーションにおいて、PacketTE および OWD

		グラフの拡大表示を有効桁数範囲内で行えるように変更。(10504) ➤ [OTDR] [FTTA] Fiber Visualizer モードにおいて、Fail イベント発生時に解決のヒントが表示される機能を追加。 ➤ [SEEK] シナリオ実行機能において以下の機能を追加。(10484) - レポート出力で使用するヘッダ情報の編集機能 - シナリオ実行後の結果を USB メモリへ直接出力する機能 ➤ [VIP] G0382 に露出補正機能を追加。(10354) ● 修正されたバグ ➤ [ETH] 100GbE FEC 有効状態において、無効になるべき PCS Skew 挿入機能が有効になる不具合を修正。(10451) ➤ [ETH] SyncTest アプリケーションにおいて、PacketTE 測定結果が N/A 表示になる場合がある不具合を修正。(10447) ➤ [ETH] Y1564 アプリケーションにおいて、エンドツーエンド測定を実施した場合、スレーブポートで、設定しているマスタポート以外のポートからのフレームを受信した場合、本体が再起動する不具合を修正。(9622) ➤ [ETH][OTN][SDH] MU110013A において、測定中に I2C アナリシス機能を実行すると 本体が再起動する不具合を修正。(10098) ➤ [OTN] QSFP28 インタフェースにおいて、デバイスに対するレートセレクトが正しく設定できない不具合を修正。(10313) ➤ [RemoteGUI] MX100001A において、画面表示に対してフォントサイズが大きく表示される場合がある不具合を修正。(9970) ➤ [OTDR] [FTTA] [Construction] ヘッダ入力画面で“,”、“.”、“/”、“¥”、“?”が入力できない不具合を修正。(10427) ➤ [OTDR] [FTTA] ソフトウェアを更新した時に、校正期間が初期化されてしまう不具合を修正。(10512)
8.00	2017-05-23	● 追加された主な機能 ➤ [New HW] 測定モジュールラインナップに MU100011A 100G マルチレートモジュールを追加。 ➤ [Framework] バッテリーの充電ができる温度上限を 3℃上昇した。(9532) ➤ [ETH] Sync Test アプリケーションにおいて下記機能を追加。(10154) - 測定結果項目に Terr(min), Terr(max), max Terr - GPS 受信できない場合に外部同期用 1PPS をリファレンスとする「1PPS mode」 - スレーブ動作時の UTC offset 値をマスタ配信値に自動反映 ➤ [CPRI] CPRI と OBASAI の GUI 表記を分離し、より分かり易く変

		更。(9519) ➤ [OTDR] Construction アプリケーションにおいて、リアルタイムチェック機能を追加。(10244) ➤ [SEEK] リモートコマンド送信後のレスポンスタイムアウト時間の初期値を 30 秒に変更。(10374) ● 修正されたバグ ➤ [ETH] IEEE1588v2 機能において、外部ログが有効時に IEEE1588v2 の Log を表示しようとする、本体が再起動してしまう場合がある不具合を修正。(10107) ➤ [ETH] ストリーム設定におけるソース IPv4 アドレスが、DHCP サーバから取得できないことがある不具合を修正。(10226) ➤ [ETH] 10m 以下のケーブルをケーブルテストアプリケーションで測定したときに、結果が不安定になる場合がある不具合を修正。(9477) ➤ [FC] リフレクタアプリケーションにおいて、フレームを消失する場合がある不具合を修正。(10214) ➤ [VIP] G0382A の使用画面で、SC/APC チップが選択リストに含まれていなかったため、選択リストに追加。(10134)
7.05	2017-03-23	● 追加された主な機能 ➤ [Framework] 測定結果の保存時やレポートファイル生成時のファイル名入力画面に Quick Matrix 機能を追加。 ➤ [Framework] ファイル名に"."を含むファイルの保存/読み出しに対応。(9557) ➤ [ETH] In-Band 制御機能と Discovery アプリケーションを追加。(9526) ➤ [ETH] RFC2544 アプリケーションにおいて、各テスト毎に最大 100 ステップの測定まで結果表示していたが全テスト合計で 500 ステップまで表示できるように改善。(8995) ➤ [ETH] RFC2544 アプリケーションバースト試験において、バースト秒での設定/結果表示に対応。(9385) ➤ [ETH] ケーブルテストアプリケーションにおいて、カテゴリ 6/6a に対応。(9474) ➤ [ETH][OTN][SDH][FC][CPRI] SFP モジュール情報表示画面において、Bi-Direction SFP 装着時の波長表示を "Tx wave Length(Nominal)"に変更。(9520) ➤ [FC] FC において、RFC2544 のようにベンチマーク試験を行うためのパフォーマンステストアプリケーション(Perf. Test)を追加。(9525) ➤ [FC] FC において、フレーム送信機能において Mbps 単位での設

		定に対応。(8386) ➤ [OTDR] Construction アプリケーションで SOR 形式ファイルのみを出力するように変更。(9560) ➤ [Remote][ETH][OTN][SDH] トランシーバ制御のリモートコマンド対応を追加。(9530) ➤ [SEEK] MX100003A に下記の機能を追加。(9752) - VIP アプリケーションを追加 - 変数による保存ファイル指定機能を追加 - ファイル名を指定するときの Quick Matrix 機能を追加 - Command Selection にカスタムアプリケーションを追加 - スクリプトのコマンドに、任意の文字列を削除するための Remove コマンドを追加[VIP] G0382A オートフォーカス VIP に対応。 ➤ [VIP] G0382A オートフォーカス VIP に対応。 ➤ [VIP] VIP アプリケーションに下記機能を追加。 - 自動測定機能(オートフォーカス、オートキャプチャ) - 本体に接続したプローブの自動認識 (G0382A, G0306A/B に対応。オートフォーカスは G0382A のみ) ● 修正されたバグ ➤ [Framework] G0306A/G0306B の挿抜を繰り返すと MT1000A がフリーズする不具合を修正。(9850) ➤ [ETH] MonGen アプリケーションにおいて、Threshold Summary 画面を表示した状態でアプリケーション終了を行うと再起動する不具合を修正。(9602) ➤ [FC] リフレクタアプリケーションにおいて、フレームサイズが $8n+4$ ($n=8..267$)の場合にフレームロスが発生する不具合を修正。(9231) ➤ [OTN][SDH] APS アプリケーションにおいて、ビットレートが 40Gbps 以上でかつトリガ設定がパターンエラーの場合、スイッチングタイムの結果が大きい値になる不具合を修正。(9753) ➤ [OTDR] Smart File Name でユーザ登録マクロが編集できない不具合を修正。(9559) ➤ [OTDR] 遠端が未検出の時にサマリが Open となっていたが FAIL になるよう変更。(9691) ➤ [Remote][ETH] MX100001A で RFC2544 アプリケーションの Through and Frameloss 測定を行うと本体が再起動する不具合を修正。(9688) ➤ [Remote][ETH] MX100001A で Y1564,MonGen,ChannelStat アプリ
--	--	---

		ケーションにおけるストリームコピー機能を実行すると試験アプリケーションが停止し、本体が再起動する不具合を修正。(9797) ➤ [Remote][ETH] SCPI 制御でレート設定した場合、インタフェースにおいて使用不可能なレートが設定できてしまう不具合を修正。(9601)
7.04	2017-02-20	● 修正されたバグ ➤ [Framework] VIP アプリケーションで G0306A/B を使用していると解析を実行したときに機器が再起動する場合がある不具合を修正。(9627)
7.03	2017-01-05	● 追加された主な機能 ➤ [ETH] PING アプリケーションにおいて、VLAN2 段のフレームフォーマットに対応。(9472) ➤ [Construction] File Number Digits の設定を追加。 ➤ [FTTA] Manual 測定を追加。 ➤ [OLTS] Wave Code モードを追加。 ➤ [OTDR][OLTS][FTTA][Construction] OTDR モジュールを使用したアプリケーションにおいて、ドイツ語表示に対応。 ➤ [NoFrame] NoFrame アプリケーションにおいて、測定結果を Report ファイルとして保存する機能を追加。 ➤ [OTDR] Bi-Directional 解析結果の PDF レポート出力に対応。 ➤ [OTDR] リアルタイム測定の設定を追加。 ● 修正されたバグ ➤ [ETH] MU110013A で 100G イーサネットの測定中に FEC の有効/無効の切り替えができてしまう不具合を修正。(9489) ➤ [ETH] Ethernet の Reflector にて、測定器が ARP/PING に応答している最中に受信したパケットを正しく送信しない場合がある不具合を修正。(6965) ➤ [ETH] PTP のログ機能を有効にした状態で、PTP 通信を行うと測定画面がフリーズする場合がある不具合を修正。(9424) ➤ [ETH][OTN] イベントログの結果が画面に表示されるまでに時間が長くなってしまう不具合を修正。(9370) ➤ [Remote][OTN][SDH] SCPI コマンドを使用して、RTD アプリケーションの Measurement Period を設定するとオプションエラーとなる場合がある不具合を修正。(9469) ➤ [OTDR] zip形式の波形ファイルを“Overlay”の条件で読み込んだ場合、Bi-Directional 設定が自動的に有効から無効になるにもかかわらず、画面表示上は有効(ON)のままになっている不具合を修正。(9255)

		➤ [Remote] MDIO レジスタを制御する SCPI コマンドが NoFrame アプリケーション以外では動作しない不具合を修正。(9493) ➤ [Remote] SCPI リモートコントロールにおいて、画面制御の有効/無効コントロールが正しく動作しない場合がある不具合を修正。(9481)
7.02	2016-10-28	● 追加された主な機能 ➤ [ETH] FEC カウンタにおいて、レート表示を追加。(9401) ➤ [ETH] QSFP28 において、I2C 解析機能を追加。(9400) ➤ [ETH] 1PPS Time Error 測定グラフに表示される測定項目の初期表示を「Deviation」から「Phase Error」に変更。(9313) ➤ [GPS][MU100090A] GPS にロックした後、経過時間を表示する機能を追加。(9068) ➤ [NoFrame] 4 レーン BER 測定機能において、レーン毎に異なる PRBS パターンを設定する機能を追加。(9402) ➤ [OTN] QSFP28 による、OTN 試験に対応。(9255) ➤ [Remote][SEEK] MX100003A においてコマンドのコピー、ペースト機能を追加。(9336) ➤ [Remote][SEEK] MX100003A による OTDR アプリケーション用シナリオ作成に対応。(9454) ➤ [SDH] APS アプリケーションのトリガ機能に Any Error を追加。(9304) ➤ [SDH] OH Preset, OH Capture 機能において、M0, M1, Z2 バイトの設定・キャプチャ表示を追加。(9305) ● 修正されたバグ ➤ [ETH] 10G以下のフレームキャプチャ機能において、タイムスタンプ情報がゼロとなるパケットが一つ発生する事がある不具合を修正。(9249) ➤ [ETH] SyncTest アプリケーションのサマリ画面において、OWD の閾値判定結果を表す色が反映されない不具合を修正。(9323) ➤ [ETH][OTN] 40G/100G 動作時において、Skew 挿入レーンタイプの変更時に挿入レーンの値が初期化されてしまう不具合を修正。(8839) ➤ [ETH][OTN] MU110012A において、アプリケーション再起動時にリンク確立できない事がある不具合を修正。(8961) ➤ [OTN] 40G/100G 動作時において ODU-AIS/OCI/LCK 挿入時に、SM-BIP8 も同時に挿入する不具合を修正。(9404) ➤ [RemoteGUI] MX100001A を終了する時にワーニングメッセージが表示される事がある不具合を修正。(7222)

		➤ [Remote][ETH] SCPI 制御で 1 台の測定器を使い Port1、Port2 間でレイテンシ測定を実行した場合、測定結果が正しく出力されない事がある不具合を修正。(9389)
7.01	2016-10-11	● 修正されたバグ ➤ [OTDR] MU100020A および MU100021A の一部の製品において低温動作時に波長が切り替わらない不具合を修正。 ➤ [OTDR] MU100021A で作成した設定ファイル(.cfg)を MU100020A または MU100022A で読み込むとエラーメッセージが表示される不具合を修正。(9298) ➤ [OTDR] リモートコマンド制御時に接続チェックが Fail となったとき、リモート制御ができなくなることがある不具合を修正。(9287) ➤ [OTDR] Construction アプリケーション実行中にリモートコマンド制御を受け付ける不具合を修正。(9392) ➤ [OTDR] OTDR:TRACe:LOAD:TEXT? コマンドで引数を設定するとコマンドエラーになる不具合を修正。(9393)
7.00	2016-09-14	● 追加された主な機能 ➤ [New HW] OTDR モジュール(MU100022A:3 波長 1310/1550/1625nm モデル)をラインナップに追加。 ➤ [New HW] CPRI RF モジュールの追加。 ➤ [ETH] BERT 試験において、ストリームタブに含まれていた「プロファイル」と「測定設定」のタブを「ストリーム・プロファイル」「ストリーム・測定設定」の 2 つのタブに分離。(9165) ➤ [Framework] 3 種類のモジュールを同時実装可能。 ➤ [OTDR] Construction 機能の追加。 ➤ [OTDR] 両端測定機能の追加。 ● 修正されたバグ ➤ [Framework] GPS ユーティリティにおいて、GPS 信号の受信状況がモニタできなくなってしまう事がある不具合を修正。(9172) ➤ [Framework] ファイルエクスプローラにおいて、ファイル削除時に本体が再起動してしまうことがある不具合を修正。(9099) ➤ [Framework] VIP を起動した後 Standard OTDR アプリケーションを起動すると測定中にレーザー発光インジケータが表示されない不具合を修正。(9144) ➤ [ETH] Ethernet RFC2544 試験時に、「繰り返しステップを累計する」を ON にしたとき、フレームロス率の計算が異なる不具合を修正。(6445) ➤ [ETH] SyncTest アプリケーションにおいて、片方向遅延しきい値にマイナス値を入力することができない不具合を修正。(9235)

		➤ [FC] BERT アプリケーションにおいて、フレームロス秒を無視する設定にした場合においても測定結果にフレームロス秒／パターンロス秒が表示されてしまう不具合を修正。(9173) ➤ [OTDR] Standard OTDR アプリケーションにおいてミッションコントロールのパワーメータでパワーメータ測定を実施後、パワーメータの Offset Zero が実行できなくなる不具合を修正。(9217) ➤ [OTDR] OTDR モジュールを含まない構成の本体で「Result File Browser」で OTDR の結果ファイルを開こうとすると本体が再起動してしまう不具合を修正。(8836) ➤ [OTDR] OTDR アプリケーションにおいて遠端が未検出の時に Fiber Visualizer 画面の波形ウィンドウが表示されなくなる不具合を修正。(8806) ➤ [OTDR] VFL を ON の状態でアプリケーションを終了すると次に起動したときに VFL が数秒点灯する不具合を修正。(8968)
6.02	2016-08-15	● 追加された主な機能 ➤ [ETH] Ethernet BER アプリケーションの Cross PRBS パターンを用いた BER 測定において、測定開始直後の PRBS Sync Alarm および PRBS Pattern Error の検出について仕様を変更。(9130) ➤ [OTN][SDH] 下記項目について測定 ON/OFF 設定を追加。(9062) OTN: PLM SDH/SONE: HP-PLM, LP-PLM, Threshold alarm ➤ [SDH] Generic-AIS 検出機能を追加。(8555) ● 修正されたバグ ➤ [OTDR] v6.00 において、レポート生成画面で実際に結果表示されない”Include Performance Verification dates”のチェックが表示される不具合を修正。(9141)
6.01	2016-07-14	● 修正されたバグ ➤ [ETH][OTN] V6.00 のソフトウェアで、MU110011A CFP インタフェースを使用した場合、CFP モジュールの Transceiver Setting が正しく設定されず、エラーが発生する不具合を修正。(9116) ➤ [FC] FC1200 フレーム信号を送出中、定期的に Frame Loss になる不具合を修正。(7877) ➤ [OTN] V5.01 以降のソフトウェアにおいて、MU110010A で Tx Reference Clock Output を使用する場合、ビットレートに OTU1f/2f/2e のいずれかを選択すると、出力クロックの周波数が 2 倍となってしまう不具合を修正。(9084) ➤ [FTTA] FTTA アプリケーションで測定スタート後に TRACE タブに

		移動するとソフトキーが無効状態になる不具合を修正。(9138)
6.00	2016-06-23	● 追加された主な機能 ➤ [New HW] MU110013A モジュールおよび、専用オプションを追加 ➤ [Framework] MT1100A CFP/CPF2 インタフェースのトランシーバ設定について自動保存機能を追加。(8568) ➤ [ETH] トラフィック送信機能に以下の設定を追加。 ・Burst 送信設定 ・フレーム長のインクリメント送信 ・送信レートの Inter Frame Gap 指定 ・送信レートのミリ秒単位のランプ送信 ・送信レート 100%以上の送信 ➤ [ETH] BERT アプリケーションの、ストリーム設定において、Payload パターンにクロス PRBS パターンを追加。 ➤ [ETH] RS/RA 機能による IPv6 送信元アドレスの自動割り当て機能を追加。 ➤ [OTDR] OTDR アプリケーションにおいて SCPI リモートコマンド制御機能を追加。 ● 修正されたバグ ➤ [Framework] ファイルロード・セーブダイアログを表示中に、キーボードで“e”を入力すると本体が再起動する不具合を修正。(8873) ➤ [Framework] MT1000A+MU100010A の構成で保存した設定ファイルを、MT1000A+MU1000xxA+MU100010A の構成で読み込むと、ライセンス不足のエラー表示がでる不具合について、構成が異なる注意コメントを通知するように修正。(8633) ➤ [ETH] 10/100/1000M 電気インタフェースの Auto Negotiation 設定をオフに設定し、“ポーズフレームに応答する”を設定してもポーズフレーム受信時に送信が止まらない不具合を修正。(8643) ➤ [ETH] チャネルスタッツアプリケーションで、CSV、XML レポートにすべての選択項目が出力されない不具合を修正。(8523) ➤ [ETH] Mon/Gen アプリケーションにおいて、アドレスフィルタのストリーム識別条件に MPLS ラベルの値が含まれていた不具合を修正。(8543) ➤ [ETH] Result 画面の“Relative Skew” 結果表示において、任意の Interval 結果を選択すると、Skew 量が“>0.000”と表示される不具合を修正。(8838) ➤ [ETH] Y1564 アプリケーションの測定結果で、リザルトテーブルのサービス詳細結果が正しく表示されない不具合を修正。(8527)

		➤ [FC] BERT アプリケーションにおいて、“BERT 測定結果のフレームロス秒を無視する”を設定してもフレームロス秒が無視されない不具合を修正。(8730) ➤ [PTP] GPS ユーティリティにおいて、4 時間までしかロギングされない不具合を修正。(8548) ➤ [OTDR] Auto Mode Test が Advanced のときに Reflectance の解析結果に誤差が生じる場合がある不具合を修正。(8933)
5.04 5.03	2016-05-23	● 追加された主な機能 ➤ [Framework]自動制御モードを追加 (8488) ● 修正されたバグ ➤ [Framework]MT1000A/MT1100A v5.01 において、特定の条件で本体に挿入した USB メモリ上のファイルにアクセスできなくなる不具合を修正。(8826) ➤ [Framework]ファイルマネージャにおいて、USB メモリ上のサブフォルダを選択した状態で USB メモリを抜き取ると本体が再起動する不具合を修正。(8733) ➤ [ETH] Ethernet RFC 2544 の”エンドツーエンド”試験結果を、レポート出力するとアプリケーションがクラッシュする不具合を修正。(8614)
5.01	2016-03-25	● 追加された主な機能 ➤ [Framework] 60 度 Tip が利用できるファイバスコープに対応。(7961) ➤ [OTDR] 各距離レンジで、設定可能な最大パルス幅の条件を拡張。(8044) ➤ [OTDR] 波形表示画面で、内蔵ダミーファイバ並びにパッチコード設定(開始点側)の範囲がわかるように表示色を変更。(8045) ➤ [ETH] IPv6 Stream 設定において、宛先 MAC アドレス解決機能 (NDP NS/NA)を追加。(7712) ➤ [ETH] フレームロス秒カウンタを表示しない設定を追加。(8057) ➤ [ETH] SyncTest アプリケーションにおいて、GPS アンテナのケーブル長を補正するパラメータを追加。(8026) ➤ [ETH] SyncTest アプリケーションにおいて、高分解能周波数カウンタ機能を追加。(7945) ➤ [OTN] LOS 挿入機能を追加。(7366) ➤ [OTN] APSトリガに以下の項目を追加。(7775) OTU3x/4: FAS-OTL,LOF-OTL,OOF-OTL,LOR-OTL,OOR-OTL, OTU1x/2x/3x/4: OTU-AIS,OOM ➤ [SDH] Pointer Movement 測定に ON/OFF 切替機能を追加。

		(7905) ● 修正されたバグ ➤ [Framework] WLAN 設定をオンからオフに変更した際に、1000 秒間本体操作が何もできなくなる不具合を修正。(8272) ➤ [Framework] MU110001A を認識しない不具合を修正。(8391) ➤ [Framework] MU100090A 実装時、終了時に MU100090A パワー On/Off のステータスを正常に保持できず、On で終了した後の次回起動時にパワーOff で起動してしまうことがある不具合を修正。(8273) ➤ [OTDR] OTDR のレポート作成後に、Restore Defaults ができなくなる不具合を修正。(8448) ➤ [ETH] 10GbE におけるストリーム送信において、IFG が異常に短くなる場合がある不具合を修正。この修正により測定対象に過剰な負荷を与えてしまう可能性を排除。(7673) ➤ [ETH] IEEE1588 機能において、UDP チェックサムエラーを含んだ PTP フレームを送信してしまうことがある不具合を修正。(7835) ➤ [OTN] +OTN(xx over OTN)アプリケーション起動し、ポートを選択した後に表示されるオプション条件不適合警告の表示条件を改善、修正。(7683) ➤ [OTN][ETH] ETH over OTN GFP-F マッピングにおいて Ethernet フレーム送信が正しく行われない事がある不具合を修正。(7519)(8075) ➤ [OTN][ETH] MPLSoverOTN マッピング時にフレーム長 46 バイトでストリーム送信の開始、停止を繰り返すと BER アラームが発生する不具合を修正。(7844)
5.00	2016-02-19	● 追加された主な機能 ➤ [New HW] MU100090A のモジュール追加。 ➤ [ETH] IEEE1588v2 Time Error 測定機能の追加。(7892) ➤ [ETH] IEEE1588v2 ITU-T G.8275.1 Profile に対応。(7992) ➤ [CPRI] CPRI APS 測定アプリケーションを追加。(7099) ➤ [Framework] CFP/CFP2/CFP4 用 MDIO Analysis 機能拡張。(7976) ➤ [OTN] OTN マッピングへパケットベースのクライアントを追加。(7975,7977,7978) ➤ [OTN][SDH] BERT アプリケーションに BERT/APS/RTD 切替モードを追加。(7980) ➤ [OTN][SDH] SDH over OTN 動作時において、SDH Transparent mapping を追加。(7981)

		➤ [Remote] JAVA1.8 での HTTP 経由 VNC 制御に対応。(6353) ➤ [Remote] SCPI 制御と、RemoteGUI 制御の同時制御に対応。(7681) ➤ [Remote][ETH] IEEE1588/SyncE フレームキャプチャデータの保存先指定リモートコマンドを追加。(8198) - ETH:PORT1:PTP:FCAP:DIR ➤ [Remote][ETH] IEEE1588 における ARP 解決実行を行うリモートコマンド、および解決結果の問い合わせコマンドを追加。(8157) - ETHernet:PORT<Pt>:PTP:MAC:ARP - ETHernet:PORT<Pt>:PTP:MAC:ARP:RESult? ● 修正されたバグ ➤ [OTDR] イベント(障害点)の検出精度を改善。(8034) ➤ [Framework] CSV で保存する文字コードの一部を変更し、MS-Excel で開いたときに文字が化ける不具合を修正。(7750) - 日本語:UTF-8 ⇒ シフト JIS 中国語:UTF-8 ⇒ GB2312 ➤ [Framework] WLAN のアクセスポイントを切り替えた際に、IP アドレスの再取得が行わない不具合を修正。(7360) ➤ [Framework] MT1100A においてシステムパスワードを設定するときに、古いパスワードを入力しなくても新しいパスワードが設定できてしまう不具合を修正。(7551) ➤ [Framework] バッテリー残量が少ない状態(6%以下)で起動すると途中でシャットダウンする不具合を修正。(7662) ➤ [ETH] MT1100A において 10Gbps 以上のインタフェースでの試験時に、2000 バイト以上のフレームで試験をしながらエラー挿入を行うと、設定以下のブロックエラーしか挿入されない不具合を修正。(7020) ➤ [ETH] 40/100GbE で、フレーム長が 8Byte の倍数でない、IPv4+UDP ヘッダの Ethernet フレームを受信すると、フレームロスが発生する不具合を修正。(7836) ➤ [ETH] BERT アプリケーションのストリーム設定でカスタムヘッダを選択すると、最小 Payload 長が 38 バイトになる不具合を修正。(7725) ➤ [ETH] Ethernet 試験時に、「履歴のクリア」を実行しても「タイミング」/「差異の積算値」が更新されず 0 のままになる不具合を修正。(6884) ➤ [ETH] IEEE1588 ステータス Wall Clock Current Time 表示が MT1000A/MT1100A 本体時刻のロケール設定に依存した時間を読み出してしまいう不具合を修正。(7850)
--	--	--

		➤ [ETH] IEEE1588 通信において、不正な時刻データを送信してしまう事がある不具合を修正。(7715) ➤ [ETH] IEEE 1588v2 の試験時に、PTP メッセージのログが保存できなくなる不具合を修正。(7421) ➤ [ETH] MT1100A+MU110011A+MU110012A 構成において、100GbE オプションが存在する場合に、Ethernet アプリケーション起動時に NMX_WARNING メッセージが表示されてしまう不具合を修正。(7904) ➤ [ETH] v3.03 以降のソフトウェアにおいて、V2.xx で保存した設定ファイルをロードし、BERT アプリケーションのカスタムヘッダ設定を切り替えると本体が再起動する不具合を修正。(7894) ➤ [ETH] リンク断の状態、IEEE1588 機能の ARP 解決実行を行うと、WARNING メッセージが表示される不具合を修正。(8112) ➤ [ETH]フレームフォーマット Layer4 設定を TCP もしくは UDP に設定した後に、None に設定した場合、IP ヘッダのプロトコルタイプフィールドの設定が自動的に前回設定を引き継ぎ UDP(0x11)、または TCP(0x06)の値となってしまう不具合を修正。(7777) ➤ [OTN] OTN のスルーモード試験時に、Low order ODU エラー、アラームは挿入できないが、追加できるような画面になっている不具合を修正。(6950),(6643) ➤ [Remote] INST:TERM コマンドを実行しても、ポートリソースが解放されない事がある不具合を修正。(7369) ➤ [Remote] SCPI リモート制御による複数ユーザ制御において、アプリケーションが正常に終了しない事がある不具合を修正。(7816,7847,7029,7968) ➤ [Remote] 以下の操作を行うと MX100001A が異常終了する不具合を修正。(7933) (1)測定器の Remote PC 接続設定 OFF 時に、MX100001A からリモート接続する (2)測定器の Remote PC 接続設定を OFF→ON に変更する (3)MX100001A からリモート接続する ➤ [Remote][ETH] 以下の非対応コマンドを取説から削除。(7537) - EThernet:CStat:SETup:PORT<Pt>:PSElect - EThernet:CStat:SETup:PORT<Pt>:PWIDTH? ➤ [Remote][OTN] MT1100A において OH キャプチャのリモート問い合わせコマンドにおいて、PSI[0]の値を正しく読み取りできない不具合を修正。(7788) ➤ [SDH/SONET] APS アプリケーションにおいて、測定中に計測した
--	--	--

		エラーを試験結果に反映できない不具合を修正。(6982) ➤ [Wireshark] Wireshark がサポートしていないファイルフォーマットを読み込もうとすると、Wireshark が再起動する不具合を修正。(7595)
4.00	2015-12-10	● 追加された主な機能 ➤ [New HW]MT1000A に下記のモジュールを追加。 MU100020A OTDR モジュール 1310/1550nm SMF MU100021A OTDR モジュール 1310/1550/850/1300nm SMF/MMF ● 修正されたバグ ➤ [Framework] CSV で保存する文字コードの一部を変更し、MS-Excel で開いたときに文字が化ける不具合を修正。(7750) 日本語:UTF-8 ⇒ シフト JIS 中国語:UTF-8 ⇒ GB2312 ➤ [Framework] MT1000A においてシステムパスワードを設定するときに、古いパスワードを入力しなくても新しいパスワードが設定できてしまう不具合を修正。(7551) ➤ [ETH] RFC2544 アプリケーションにおいて、フレームフォーマットをIPv6 に設定し、Learning frame を有効にした状態で測定を実行すると測定器が再起動する不具合を修正。(7808) ➤ [ETH] IEEE 1588v2 の試験時に、PTP メッセージのログが保存できなくなる不具合を修正。(7421) ➤ [ETH] MT1000A において 10Gbps Ethernet 試験時に、2000 バイト以上のフレームで試験をしながらエラー挿入を行うと、設定以下のブロックエラーしか挿入されない不具合を修正。(7020) ➤ [OTN] MT1000A において SCPI コマンドにおいて OH PSI[0]値を正常に読む事ができない不具合を修正。(7788)
3.04	2015-11-06	● 修正されたバグ ➤ [OTN] 連続した OLA アラームを正しく検出できない不具合を修正。(7703) ➤ [OTN] PM-BIP、PM-BEI エラーがイベントログに出力されない不具合を修正。(7702) ➤ [OTN][ETH] MT1100A Ethernet over OTN アプリケーションにおいて、OTN を解除して設定データを保存した後、このデータを読み込むと Warning が発生する不具合を修正。(7727) ➤ [ETH] Layer2 のカスタムヘッダの長さを 26byte 以上に設定し、Jitter 測定もしくは Latency 測定をチェックし、フレーム長を設定可能な最小値に設定すると、測定器が再起動する不具合を修正。

		(7674) ➤ [ETH]1 筐体で同一モジュールの 2 ポート間で Latency 測定を行うと正しく測定できないことがある不具合を修正。(7691)
3.03	2015-10-02	● 追加された主な機能 ➤ [Remote] Remote Command と GPIB-USB コンバータ(応用部品)の追加。 ➤ [ETH] Ethernet ヘッダ情報を任意に編集する機能を追加。 ➤ [ETH] 10G Ethernet において PCS 測定機能を追加。 ➤ [ETH]ストリーム作成時のアドレス生成機能を強化。 ➤ [OTN] OTN マッピングのクライアントシグナルに Null を追加。 ➤ [ETH] RFC2544 試験結果の表示方法を変更。 ➤ [ETH] RFC2544/Y.1564 の試験結果の一覧表示に対応。 ➤ [ETH] IEEE802.1Q 2015 年版の規格変更に合わせて、GUI の VLAN tag の表記を「DEI」から「CFI」に変更。 ➤ [Framework] 試験結果の表示方法を変更。 ➤ [Framework] レポートに出力する結果を選択できる機能を追加。 ● 修正されたバグ ➤ [Framework] USB デバイスに保存されている PDF や XML ファイルを閲覧しているとき、測定器が再起動する不具合を修正。(7359) ➤ [Framework] Windos7 64bit 版 OS 環境で、PC 用 MX100001A を使用し、日本語の PDF Report を生成すると文字化けする不具合を修正。(7028) ➤ [ETH] IEEE 1588v2 の試験時に、試験ログが正しく保存できない不具合を修正。(7390) ➤ [ETH] IEEE1588v2 の試験時に、Sync/Announce/Delay Request 送信が高レート時に正しく動作しない問題を修正。(7389) ➤ [ETH]40G/100G Ethernet Reflector アプリケーションで、SWAP を設定しないと IP/MAC のカウントができない不具合を修正。(7376) ➤ [ETH] Accedian NID 対向、OAM 802.ah リモートループバック状態に、正常に OAM(802.ah)が通信できない不具合を修正。(7365) ➤ [ETH] RFC 2544 のレイテンシ試験のイベントログに「中断」イベントが表示されてしまう不具合を修正。(7361) ➤ [ETH] スルーモードを設定し、クロックモードの Mater/Slave 設定を切り替えると、フレームが送信できない不具合を修正。(7284) ➤ [ETH] RFC2544 試験を実行した結果が 148 Step 以上になった時に、保存した測定結果を再び読みだすと、正しく表示できない不具合を修正。(7136)

		➤ [ETH] MAC アドレスの U/L ビットが認識できず、送信数を正しくカウントできない不具合を修正。(7108)(7103) ➤ [ETH] GPS を使用した時刻同期機能を使用する場合、IEEE1588 ステータス/ウォールクロックの UTC と現在値の表示が異なる不具合を修正。(6996) ➤ [ETH] RFC 2544, SAT(Y.1564)アプリケーションの「エンドツーエンドテスト」を終了した後、スレーブ側で「実行中」ウィンドウが消えない不具合を修正。(6957) ➤ [ETH] Ethernet SAT Y.1564, Mon/Gen 試験時に、自動保存された設定が、正常に読み込めない不具合を修正。(6956)(7529) ➤ [ETH] Ethernet 試験時に、SyncE SSF アラームを「履歴のクリア」しても、ログに残る不具合を修正。(6912) ➤ [ETH] 一度 NoLink アラームを挿入すると、エラーを受信したポートにおいて、信号が正常になっても Link エラーのままになる不具合を修正。(6877) ➤ [ETH] RFC2544 試験の Jitter 測定時に、試験結果の表示が「Jitter xxx」と表記するところを「Latency xxx」となっていた不具合を修正。(7538) ➤ [OTN] GMP の Justification カウンタで、Cm 値の Min/Max が積算される不具合を修正。(7482) ➤ [OTN] OTN 試験時に、すべての LOF および LOM のアラームが最下層で検出される不具合を修正。(7006) ➤ [PDH] E1 インタフェースにおいて、CAS MFAS アラームを挿入するとパターンエラーも同時に挿入されることがある不具合を修正。(7019) ➤ [SDH/SONET] 2 つのポートでの APS 測定時に、APS の結果が正しく測定できない不具合を修正。(7382) ➤ [Remote] No Frame のアプリを起動し、リモートコマンド NFR:PORT1:STIM:TX:FOFF 10.0 を送信すると画面がフリーズする不具合を修正。(7465) ➤ [Remote] INSTRument:START リモートコマンドでアプリケーションサーバ起動直後に、SCPI セッションをクローズすると、測定器が再起動する不具合を修正。(7012) (7347) ➤ [Remote] MX100001A でのリモート制御時に、制御している測定器から PC へ複数ファイルがコピーできない不具合を修正。(6986) ➤ [Remote][CPRI] リモート制御での CPRI 試験時に、MEASurement:SETup:EVALuation:RX:INTerface?コマンドが Error を返す不具合を修正。(6992)“
--	--	--

		➤ [Remote][CPRI] CPRI Paththrough の設定において、リモートコマンドを利用して Test threashod の設定ができない不具合を修正。(7042) ◇ MEASurement:SETup:EVALuation:RX<Pt>[:ENABLE] ◇ MEASurement:SETup:EVALuation:RX<Pt>:INTERface ◇ MEASurement:SETup:EVALuation:CPRI:PORT<Pt>:ITEM ◇ MEASurement:SETup:EVALuation:CPRI:PORT<Pt>:ITEM:ALARm ◇ MEASurement:SETup:EVALuation:CPRI:PORT<Pt>:ITEM:ERRor ◇ MEASurement:SETup:EVALuation:CPRI:PORT<Pt>:TYPE ◇ MEASurement:SETup:EVALuation:CPRI:PORT<Pt>:CNT:FAIL ◇ MEASurement:SETup:EVALuation:CPRI:PORT<Pt>:RATio:PASs ◇ MEASurement:SETup:EVALuation:CPRI:PORT<Pt>:RATio:FAIL ◇ MEASurement:SETup:EVALuation:TMBPs:RX<Pt>:ITEM” ➤ [Remote][ETH] Ethernet のリモートコマンドで「*rst」を実行時に、数秒間 Link Loss が発生する不具合を修正。(6993) ➤ [Remote][OTN] リモートコマンド制御時に、Ethernet over OTN マッピングにおける GbE クライアント信号が正常にリンクしない不具合を修正。(6955) ➤ [Remote][OTN] リモートコマンド制御時に、OTN の MAX, DEF パラメータの設定値(最大値、デフォルト値)が正しく反映されない不具合を修正。(6775) ◇ OTN:STIM:TX1:GMP:AEIN:EBIT MAX ◇ OTN:STIM:TX1:GMP:AEIN:EBIT DEF”
3.02	2015-07-29	● 修正されたバグ ➤ [Framework] ファイルの保存/読み出し機能において、本体およびモジュールオプションの構成が異なるファイルを正しく読み出せない事がある不具合を修正。(7110, 7053, 7038, 7000) ➤ [Framework] Remote GUI ソフトウェア(MX100001A)において、Editor と Viewer が起動しない不具合を修正。(6990) ➤ [ETH] RFC6349 end-to-end テストアプリケーションにおいて、“Communication Port”の設定を不要にした。(7172) ➤ [ETH] Ethernet Pass Through アプリケーションにおいて、設定ファイル読み込み時に“Expected preamble length”の設定値が正しく反映されない不具合を修正。(7156)

		➤ [ETH] Ethernet BERT アプリケーションにおいて、2 ポート目以降のストリーム設定を Unframe した場合、ファイルの保存/読み出しが正しくできない不具合を修正。(7041) ➤ [ETH] Ethernet アプリケーションにおいて、以下の問い合わせコマンドを送ると、本体が再起動する不具合を修正。(7022) ETHernet:PORT<Pt>:OAM:DISCover:CATalog? ➤ [ETH] RFC2544 アプリケーションで Latency と Burst を同時に測定した場合、保存したファイルの読み出しやレポートを生成すると、Latency 結果が消える不具合を修正。(7010) ➤ [ETH] Ethernet BERT アプリケーションにおいて、V2.04 での設定ファイルを読み出すと、Frame Loss が発生する不具合を修正。(7004) ➤ [ETH] Ethernet Ping アプリケーションを実行後、他の Ethernet アプリケーションを実行すると、再起動する不具合を修正。(6999) ➤ [ETH] Ethernet アプリケーションにおいて、OAM 802.1ag/VLAN CCM を送受信していると、画面がフリーズする不具合を修正。(6980) ➤ [ETH] SCPI コマンドに以下の問い合わせパラメータを追加。(6975) ETHernet:PORT<Pt>:IFETch? TDL: Stream 1 Throughput Data Layer (bps). Response: <Min>,<Max>,<Avg> TNL: Stream 1 Throughput Network Layer (bps). Response: <Min>,<Max>,<Avg> TLL: Stream 1 Throughput Link Layer (bps). Response: <Min>,<Max>,<Avg> TPPL: Stream 1 Throughput Physical Layer without Preamble (bps).Response: <Min>,<Max>,<Avg> TPL: Stream 1 Throughput Physical Layer (bps). Response: <Min>,<Max>,<Avg> TUL: Stream 1 Throughput Utilization Layer (bps). Response: <Min>,<Max>,<Avg> ➤ [ETH] Ethernet アプリケーションにおいて、ARP reply 送信時に、stream のデータがまれに 1frame 余分に送出される不具合を修正。(6970) ➤ [ETH] Ethernet アプリケーションにおいて、“Include addresses in frame filter on receiver”の設定が受信動作に正しく反映されない場合がある不具合を修正。(6964) ➤ [OTN] FC BERT over OTN アプリケーションにおいて、FC400 レートの設定ファイルを読み出すと、FC800 となる不具合を修正。
--	--	---

		(7169) ➤ [OTN] MT1000A で、FC BERT over OTN アプリケーションが起動できない不具合を修正。(7166) ➤ [OTN] 1. SCPI コマンドにおいて、OTN:RX<Pt>:IFETch? S0MSIM を送信すると、レスポンスが返らない不具合を修正。(7066) ➤ [OTN] OTN アプリケーションにおいて、上位アラームが発生した際にも、MSIM 結果がマスクされずに表示されてしまう不具合を修正。(7066) ➤ [OTN] OTN アプリケーションにおいて、V2.02 以前の結果ファイルを読み出すと、SCPI コマンドで Performance 測定結果が正しく読み出せない不具合を修正。(7066) ➤ [OTN] OTN アプリケーションにおいて、GFP-F/T マッピングにおける cHEC,tHEC エラーを検知した時、1 つ上位のレイヤのサマリ LED が点灯する不具合を修正。(6972) ➤ [OTN] OTN アプリケーションにおいて、LOFLOM を検出すると、Justification をカウントできない不具合を修正。(6962) ➤ [SDHPDH] SCPI コマンドのパラメータ名称の誤記を変更。(7140) - T1:RX<Pt>:IFETch? (NFRame) -> (OOF) - T1:APS:RX<Pt>:EVENT NFR -> OOF - T1:STATus:RX<Pt>:ALARm? Loss Of Frame -> OOF - TMBPs:APS:RX<Pt>:EVENT NFR -> NFRame - similar GUI value "LOF"-> "No frame" ➤ [SDHPDH] SDH/PDH アプリケーションにおいて、以下の問い合わせコマンドを送ると、アプリケーションが終了し、本体が再起動されてしまう不具合を修正。(7031) - E3:RX1:IFET? (PBBE) ➤ [SDHPDH] E1 Balanced コネクタのピン割り当てをマニュアルに追記。(6958) ➤ [SDHPDH] PDH レートが設定された設定ファイルを、MU110011A モジュールで読み込むと、アプリケーションがフリーズする不具合を修正。(6915) ➤ [CPRI] CPRI PassThrough アプリケーションで、以下 SCPI コマンドで設定した閾値パラメータが、実際の測定結果判定に使われていない不具合を修正。(7042) - MEASurement:SETup:EVALuation:RX<\$Pt\$>[:ENABle] - MEASurement:SETup:EVALuation:RX<\$Pt\$>[:INTERface] - MEASurement:SETup:EVALuation:CPRI:PORT<\$Pt\$>[:ITEM] - MEASurement:SETup:EVALuation:CPRI:PORT<\$Pt\$>[:ITEM]:ALARm
--	--	---

		MEASurement:SETup:EVALuation:CPRI:PORT\$<\$Pt\$>\$:ITEM:ERRor MEASurement:SETup:EVALuation:CPRI:PORT\$<\$Pt\$>\$:TYPE MEASurement:SETup:EVALuation:CPRI:PORT\$<\$Pt\$>\$:CNT:FAIL MEASurement:SETup:EVALuation:CPRI:PORT\$<\$Pt\$>\$:RATio:PASS MEASurement:SETup:EVALuation:CPRI:PORT\$<\$Pt\$>\$:RATio:FAIL MEASurement:SETup:EVALuation:TMBPs:RX\$<\$Pt\$>\$:ITEM ➤ [CPRI] CPRI BERT アプリケーションにおいて、測定インターバル毎の RTD 測定結果が誤っている不具合を修正。(6875) ➤ [FC] FibreChannel BERT アプリケーションにおいて、エラー/アラームの挿入リストに CRC Error が表示されない不具合を修正。(6862)
3.01	2015-06-05	● 追加された主な機能 ➤ [All] エラーアラーム測定サマリ表示機能を追加。(6888) ➤ [All] テストレポートに Performance Verification date を追加。(6890) ➤ [All] スペイン語表示対応。(6891) ➤ [Framework] 内部ストレージの初期化機能追加。(6895) ➤ [RemoteGUI] MX100001A(Windows アプリケーション)で設定ファイル編集、結果ファイル読み込み機能を追加。(6894, 6942) ➤ [ETH] リフレクタアプリケーションに ARP/PING 応答機能、リフレクタの MAC/IP アドレス設定を追加。(6897) ➤ [OTN] クライアントシグナル周波数結果表示を追加。(6868) ➤ [OTN] APS アプリケーションに Pattern Bit Error/LOSトリガを追加。(6867) ➤ [ETH] Ethernet サービス中断時間測定タイプに LOS を追加(光インタフェースのみ) ● 修正されたバグ ➤ [Framework] MU110001A においてバッテリー残量が正しく表示されない事がある不具合を修正。(6902) ➤ [RemoteGUI] PC 制御ソフトにおけるファイルソートの不具合を修正。(6878) ➤ [ETH] ストリームラインロード設定のリモートコマンドにおける不具合を修正。(6866) ➤ [ETH] Mon/Gen アプリケーションにおけるマルチストリーム認識方法における不具合を修正。(6940) ➤ [ETH] BERT アプリケーションにおける SDT(Service Disruption Time)結果における不具合を修正。(6857) ➤ [ETH] Ping アプリケーションにおいて連続測定時の不具合を修

		正。(6834) ➤ [ETH] VLAN ID 可変フィールド設定における不具合を修正。(6860) ➤ [ETH] Electrical インタフェース時の Remote Fault の不具合を修正。(6859) ➤ [ETH] Y.1564 アプリケーションにおける、40/100G 最大送信レート設定における不具合を修正。(6855, 4246) ➤ [FC] SDT(Service Disruption Time)結果における不具合を修正。(6863) ➤ [FC] Frame Loss Seconds 結果における不具合を修正。(6864) ➤ [OTN] Threshold 設定をして測定した際にクラッシュする不具合を修正。(6939) ➤ [OTN] 周波数オフセット表示方法を改善。(6887)
3.00	2015-05-25	● CPRI アプリケーションを追加。(6465) ● イーサネットアプリケーションに次の機能を追加： ➤ RFC6349 アプリケーションを追加。(6366) ➤ Y.1564 アプリケーションにおけるレイヤ 2 フレーム対応。(6398) ➤ Y.1564 アプリケーションにおける自動サービス名機能追加。(6360) ➤ RFC2544/Y.1564/MonGen アプリケーションにおける MAC/IP フィルタリング OFF 設定を追加。(6557) ● OTN アプリケーションに次の機能を追加： ➤ OTU3/4 3 ステージマッピングを追加。(6369) ➤ OTN BMP マッピング SDH クライアントを追加。(6372) ➤ OTN FTFL アラームの検出/挿入機能を追加。(6373) ➤ OTN Client シグナル表示順番を改善。(6374) ➤ OTN GFP-F クライアント 100G まで対応。(6369) ➤ APS アプリケーション時にエラーアラーム等測定結果表示を追加。(6399) ● SDH アプリケーションに次の機能を追加： ➤ APS アプリケーションにパターンエラートリガを追加。(6419) ➤ APS アプリケーション時にエラーアラーム等測定結果表示を追加。(6399) ● FC アプリケーションに次の機能を追加 ➤ 周波数オフセット付加/モニタ機能を追加。(6405) ➤ リフレクタアプリケーションを追加。 ● 共通フレームワークに次の機能を追加 ➤ PC からの GUI リモート機能を追加。(6342,6341) ➤ イベントログ機能を追加。(6400)

		➤ VIP アプリケーション機能を追加。(6367) ➤ CFP モジュールにおける MDIO 解析機能を追加。(6351) ➤ 電気エクステンダモジュール対応。(6483) ➤ 外部 10MHzクロック対応。(6464) ➤ CFP/CFP2 モジュールにおけるエンファシス/イコライザ調整機能を追加。(6352) ➤ スウェーデンキーボード入力に対応。(6345) ➤ CSV 形式レポート出力に対応。(6340) ➤ ユーティリティアイコン表記を改善。(6365,6362,6361) ● 修正されたバグ ➤ [AII] CFP2 インタフェースにおけるタイミングソースが受信信号検出クロックでの不具合を修正。(6667) ➤ [AII] MU110010A が構成された MT1100A においてバッテリー駆動での起動時にシャットダウンしてしまうことがある不具合に対応。(6880) ➤ [SCPI] 測定開始後すぐの測定停止での不具合を修正。(6726) ➤ [SCPI] SCPI コマンドの長期連続運転での安定性を改善。(6707) ➤ [ETH] MPLS-TP OAM フレームが MPLS-TP カウントされない不具合を修正。(6762) ➤ [ETH] RFC2544 アプリケーションにおける、CMA3K との E2E 測定における不具合を修正。(6735) ➤ [ETH] RFC2544 アプリケーションにおける、選択スループットタイプの不具合を修正。(6658) ➤ [ETH] RFC2544 アプリケーションにおいて、長期測定状態での不具合を修正。(6656, 6644) ➤ [ETH] SDT 測定が LOS 状態でリセットされてしまう不具合を修正。(6570) ➤ [ETH] PCS アラームの LED 表示の不具合を修正。(5892) ➤ [OTN] ODU2e フレームのクライアント信号として 10GigE を選択した場合、AMP (Asynchronous CBR Mapping) でのマッピングとなっていた不具合を修正。(6372) ➤ [SDH] Performance 測定における不具合を修正。(5419) ➤ [FC] SDT 測定における不具合を修正。(6531) ➤ [FC] 受信フレームがアンダーサイズと認識されてしまう不具合を修正。(6254) ➤ [NoFrame] BERT 測定結果表示が欠けてしまう不具合を修正。(6733)
--	--	--

		➤ [ETH] RFC2544 アプリケーションにおける、スループット計算レイヤ初期値を変更。 ➤ [ETH] RFC2544 アプリケーションの平均スループット測定において、ストリーム受信状態が安定した区間を測定するよう、タイミングを修正。 ➤ [ETH] RFC2544 アプリケーションの長期測定において、内蔵ストレージ空き容量を超える場合の処理を追加。
2.05	2015-03-25	● 以下のバグ修正と改善 ➤ [OTN] OTU3-40GbE マッピング時エラー発生する不具合の修正。(6454) ➤ [All] MU110001A バッテリ未装着動作の問題に対しての対策を追加。(バージョン 2.04 固有の不具合)(6411) ➤ [All] 長時間運転時にアプリケーションがクラッシュする不具合を修正。(6455, 6552) ➤ [All] Ethernet サービスインタフェースのネットワーク設定における不具合を修正。(6461)
2.04	2015-01-22	● 以下の機能追加 ➤ [SCPI] リモートによる GUI 起動、リモートと GUI での制御切り替え機能の追加。(6355) ➤ [PDH] E3 インタフェースにおける PRBS31 テストパターン対応。(6064) ● 以下のバグ修正と改善 ➤ [OTN] スループモード動作時における不具合を修正。(6386) ➤ [OTN] Performance 測定における不具合を修正。(6264) ➤ [OTN] ODU4-ODU2e-10GE マッピング PayloadType についての不具合を修正。(6401) ➤ [ETH] 40/100G 動作時のストリーム送信時の不具合を修正。(6281) ➤ [ALL] 測定中の安定性向上。(6376,6229)
2.03	2014-12-18	● 以下のバグ修正、改善 ➤ [OTN] LLM-OTL, MFAS-OTL エラー挿入、検出機能の追加。(6262) ➤ [OTN] APS Error Trigger イベントタイプを追加。(6261) ➤ [OTN] エラーステータス名称の変更(OTL, LOA, LOBL, LOAML)(6262) ➤ [SDH] Pointer Movement 結果表示スピードを改善。(6265) ➤ [ETH] Y1564 service 番号表示に関する不具合を修正。(6295) ➤ [ETH] Y1564 End to End 測定失敗する不具合を修正。(6291)

		➤ [ETH] HiBER アラーム検出しない不具合を修正。(6230) ➤ [FW] VNC 接続に関する不具合を修正。(6243) ➤ [FW] MT1100 Battery 情報表示に関する不具合を修正。(6020) ➤ [RFS] ETSI R&TTE EN300 328 V1.8.1 に対応。(6263) ➤ [RFS] アプリケーションの安定性を向上。(6318) ➤ [RFS] Ethernet サービスインタフェースの安定性を向上。(6404)
2.02	2014-11-11	● 以下のバグ修正 ➤ [OTN] ITU-T G709 PSI[0]デコードに対する不具合を修正。(6231) ➤ [ETH] NMX_ASSERT 発生に対する不具合を修正。(6232) ➤ [FC] 相互接続性、その他不具合を修正。(5088, 6253, 6254) ➤ [Wireshark] バグ修正と安定性を向上。(6166)
2.01	2014-10-23	● 次の製品に対応: ➤ MT1100A ネットワークマスタ フレックス ➤ MU110010A 10G マルチレートモジュール ➤ MU110011A 100G マルチレートモジュール ➤ MU110012A 40/100G モジュール CFP2 ● ファイバーチャネルアプリケーションを追加。 ● イーサネットアプリケーションに次の機能を追加。 ➤ WAN-PHY インタフェースに対応 ➤ Wireshark を含むフレームキャプチャ ➤ Channel Statistics ● OTN アプリケーションに次の機能を追加。 ➤ GFP-F マッピング ➤ FC クライアントマッピング ● バグ修正と安定性を向上。
1.00	2014-06-23	● 次の製品に対応した最初のリリース: ➤ MT1000A ネットワークマスタ プロ ➤ MU100010A 10G マルチレートモジュール

既知の不具合

Module	Version	Description
MT1000/MT1100 MU100010A MU100011A MU110010A MU110011A MU110012A MU110013A	V12.00	● [ETH] Ethernet SDT 試験時に、CFP2 インタフェースのときサービス中断時間 測定精度が ± 300 ms になる不具合があります。(6858) ● [ETH] [MxH] Ethernet または eCPRI/RoE の BERT アプリにおいて、UDP を含むパケットの測定時に送信元ポートの設定と異なる宛先ポートの UDP パケットを受け取ると画面が固まることがあります。本不具合は、Port1 のみ発生します。本不具合が発生した場合、MT1000A を再起動してください。(12575) ● [SDH/SONET] v7.02 以降の SONET/SDH の APS 測定において、トリガを Any Error を選択した場合、検出した測定結果が実際のスイッチングタイムより 10ms 程度大きくなる不具合があります。(10849) ● [ETH] MT1100A の 40G/100G インタフェースで RFC2544 試験を行う際、フレームサイズ 15500byte でラインレート 99.4%以上の場合、エラーフレームが発生する不具合があります。(9671) ● [ETH] 463 バイト以上のパケット長のエラーを含んだ ICMP リプライパケットを受信してもエラーとして認識しない不具合があります。(12819) ● [ETH][MxH] MT1000A の Ethernet BERT と eCPRI/RoE BERT アプリにおいて、測定タイプに「LOS」を選択した場合のサービス中断時間の測定結果が、実際よりも小さく表示される不具合があります。本不具合は、レイテンシ/ジッタ タイムスタンプの「9.05 以前のバージョン」を選択すると回避できます。(13429) ● [ETH][OTN][SDH][CPRI/RoE][FC]レポート出力にイベントログを含める設定にして、CSV 形式で出力すると、クラッシュすることがあることが有ります。現象が発生した場合には、レポート出力にイベントログを含めない設定に変更し、出力してください。イベントログの CSV 出力に関しては、イベントログ結果画面の CSV 出力をご利用ください。(13579) ● [ETH] v7.01 以降の Mon/Gen アプリにおいて、バースト送信が設定通りのバースト間隔にならない不具合があります。(13893)